

## 第5部 市民

---



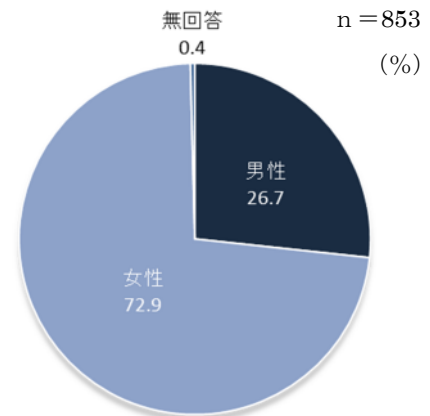
## 第5部 市民

※市民（18歳以上65歳未満）調査の回答者数は853であり、集計の基本はこの数である。限定設問は少なくなる。

### 1. あなたとご家族の状況について

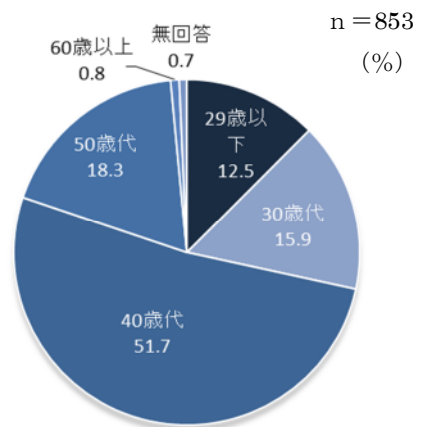
#### 問1 あなたの性別をお答えください。

回答者の男女比は、「男性」が26.7%、「女性」が72.9%となっている。



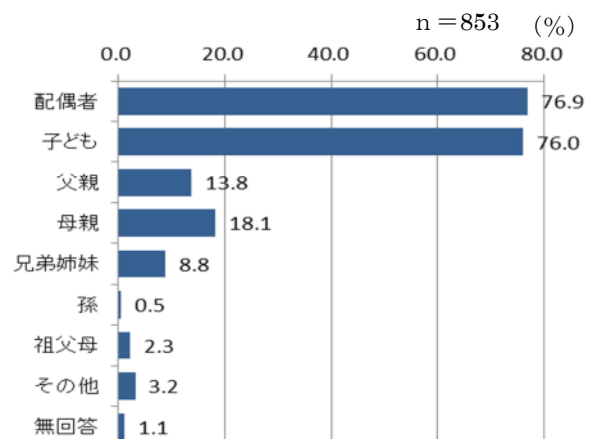
#### 問2 あなたは、現在、何歳ですか。（数字を記入）

回答者の年齢は、「40歳代」が51.7%と最も多く、「50歳代」が18.3%、「30歳代」が15.9%と続いている。



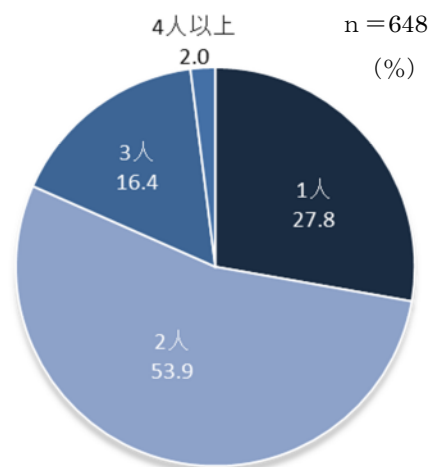
#### 問3 現在、あなたといっしょに暮らしているご家族はどなたですか。（あてはまるものすべてに○） ※単身赴任等により、一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

一緒に暮らしている家族は、「配偶者」が76.9%、「子ども」が76.0%となっており、そのほか「母親」が18.1%、「父親」が13.8%、「兄弟姉妹」が8.8%などとなっている。



問4 お子さんと同居している方にお伺いします。同居されているお子さんの人数と現在の年齢をご記入ください。(数字を記入)

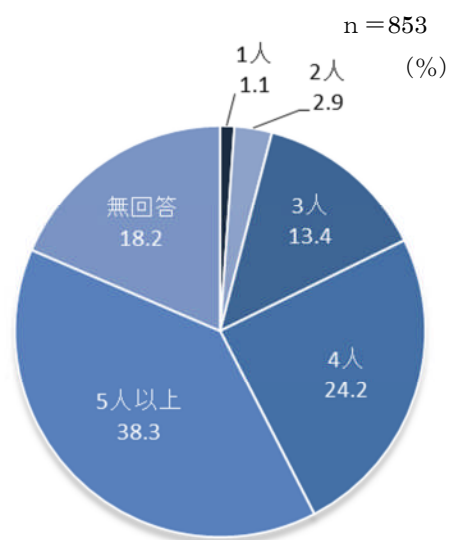
同居しているお子さんの人数は、「1人」が27.8%、「2人」が53.9%、「3人」が16.4%となっている。



問5 現在、いっしょに暮らしているご家族は、全部で何人ですか。(数字を記入)

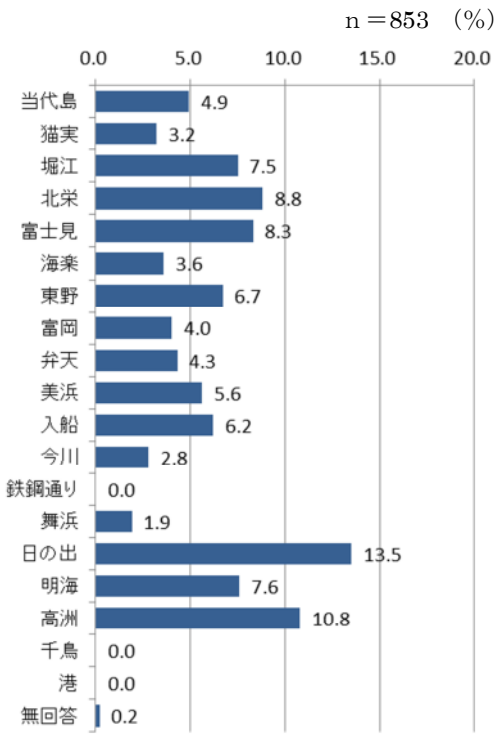
※単身赴任等により、一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

一緒に暮らしている家族の人数は、「5人以上」が38.3%と最も多く、次いで「4人」が24.2%、「3人」が13.4%となっている。



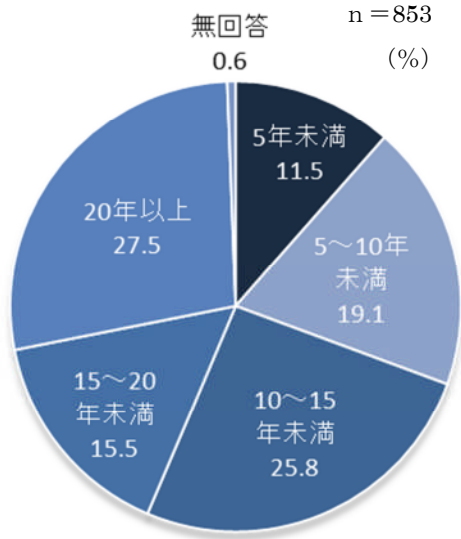
**問6 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○をつけ、カッコ内に丁目の数字を記入)**

お住まいの地区は、「日の出」が13.5%、「高洲」が10.8%と多く、そのほか「北栄」が8.8%、「富士見」が8.3%、「明海」が7.6%、「堀江」が7.5%などとなっている。



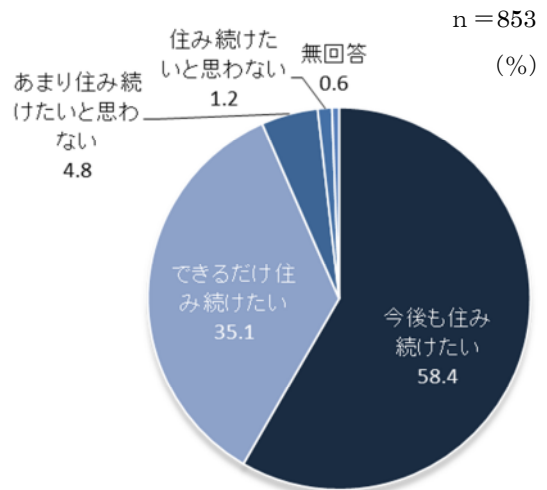
**問7 あなたは、浦安市に住んで通算でおおよそ何年になりますか。(数字を記入)**

浦安市での居住年数は、「20年以上」が27.5%と最も多く、「10～15年未満」が25.8%、「5～10年未満」が19.1%などとなっている。



**問8 あなたは、今後も浦安市に住み続けたいと思いますか。(1つに〇)**

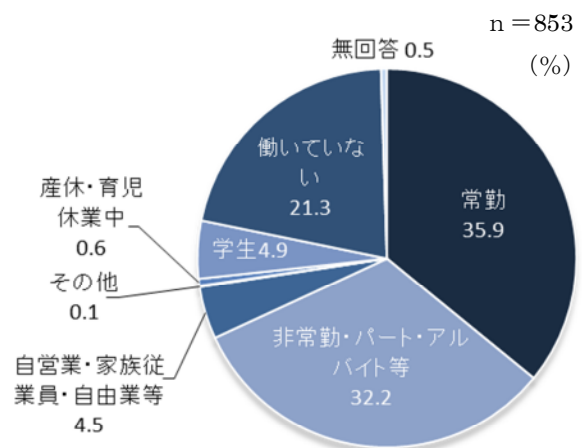
今後の定住意向について、「今後も住み続けたい」は58.4%と6割近くに上っており、「できるだけ住み続けたい」とあわせて93.5%となっている。



**2. あなたの仕事や生活等について**

**問9 あなたは、現在働いていますか。(1つに〇)**

現在の仕事は、「常勤」が35.9%、「非常勤・パート・アルバイト等」が32.2%、「働いていない」が21.3%で、「産休・育児休業中」は0.6%となっている

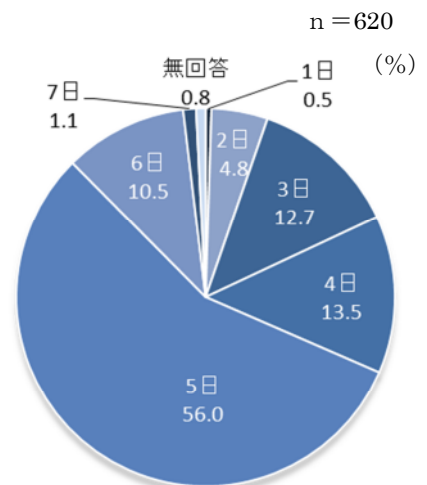


問9で「1. 常勤」「2. 非常勤・パート・アルバイト等」「3. 自営業・家族従業員・自由業等」「4. その他」に〇をつけた方にお伺いします。

問9-1 あなたが働いているおおよその日数・時間や残業の状況をお答えください。

**■働いている日数**

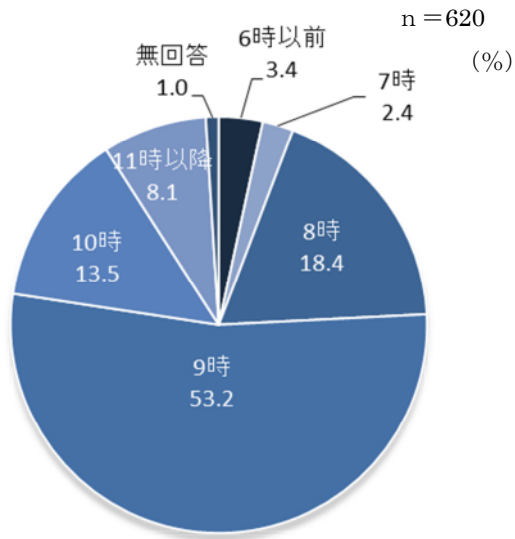
働いている日数は、週に「5日」が56.0%と最も多く、「4日」が13.5%、「3日」が12.7%、「6日」が10.5%となっている。



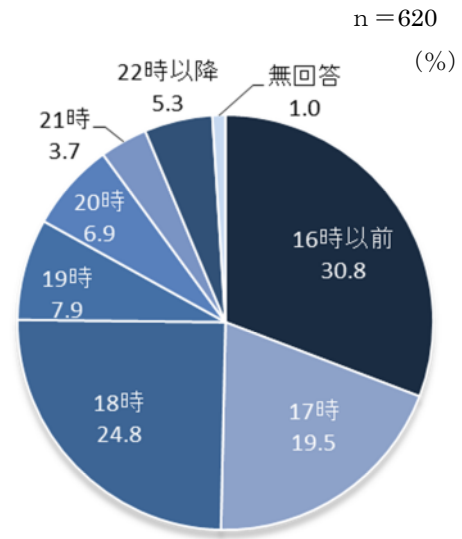
■ 始業時間、就業時間

働いている時間帯について、始業時間は「9時」が53.2%と最も多く、終業時間は「16時以前」が30.8%、「18時」が24.8%、「17時」が19.5%となっている。

始業時間



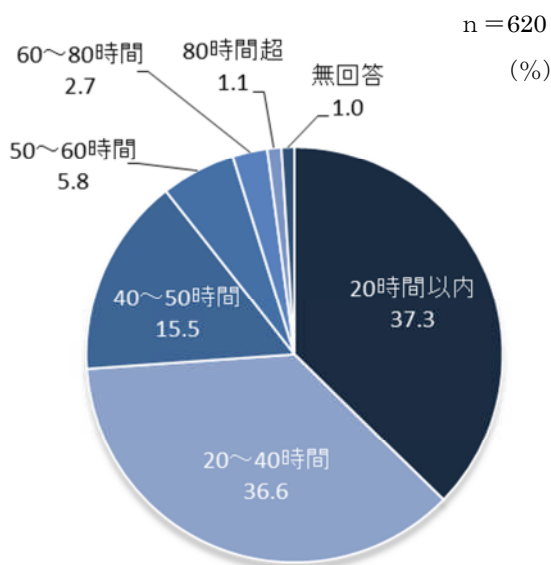
終業時間



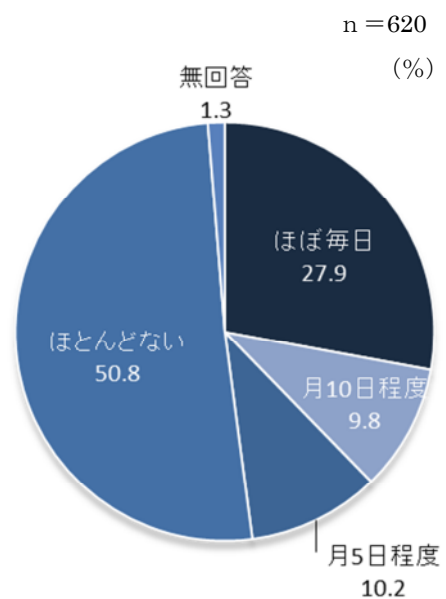
■ 働いている時間（1週間の合計就労時間）

1週間に働いている時間は、「20～40時間」が36.6%、「20時間以内」が37.3%、「40～50時間」が15.5%となっている。残業の状況は、「ほとんどない」が50.8%と最も多い一方、「ほぼ毎日」は27.9%となっている。

働いている時間（1週間の合計就労時間）



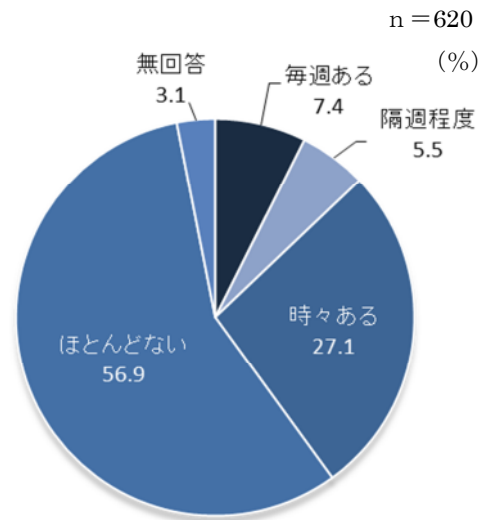
残業の状況



■休日出勤の状況

休日出勤の状況は、「ほとんどない」が 56.9%と最も多い一方、「時々ある」は 27.1%、「毎週ある」は 7.4%となっている。

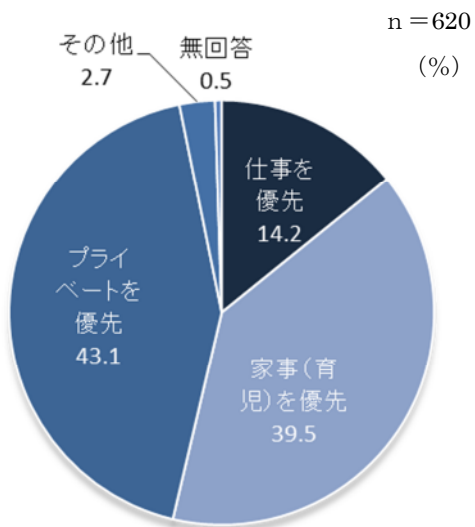
休日出勤の状況



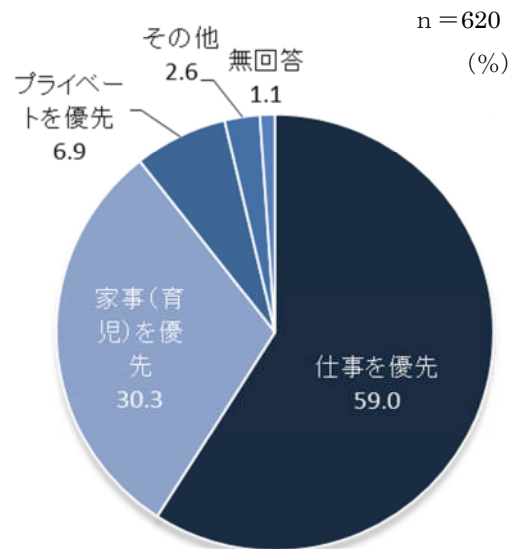
問9-2 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）」・「プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」についてお答えください。（それぞれ1つに〇）

生活の中での優先度として、「希望」では「プライベートを優先」が 43.1%、「家事（育児）を優先」が 39.5%と高い一方、「現実」では「仕事を優先」が 59.0%と最も高く、「家事（育児）を優先」が 30.3%で、「プライベートを優先」は 6.9%にとどまっている。

希望



現実

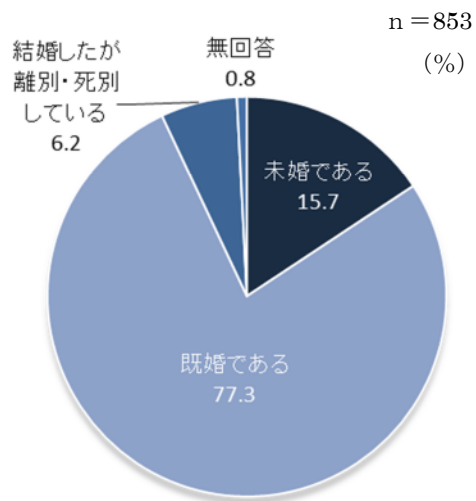




### 3. 実際のあなたの結婚や子育てについて

問10 あなたは、結婚（事実婚を含む）をしていますか。（1つに〇）

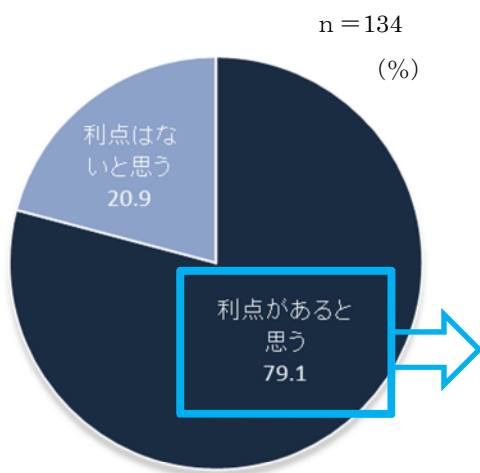
結婚の状況について、「既婚である」が77.3%、「結婚したが離別・死別している」が6.2%で、「未婚である」は15.7%となっている。



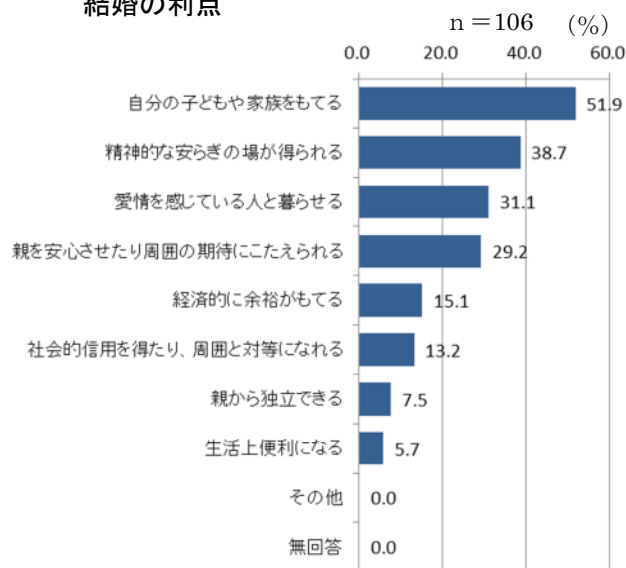
問10で「1. 未婚である」に〇をつけた方にお伺いします。

問10-1 今のあなたにとって、結婚することにはなにか利点があると思いますか。左下の枠のあてはまる番号に〇をつけてください。また、「1.」に〇をつけた方は右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで番号に〇をつけてください。

結婚することに利点があるかという質問に対し、「利点があると思う」は79.1%、「利点はないと思う」は20.9%となっている。「具体的な利点の内容」は、「自分の子どもや家族をもてる」が51.9%と最も高く、「精神的な安らぎの場が得られる」が38.7%、「愛情を感じている人と暮らせる」が31.1%、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」が29.2%などとなっている。

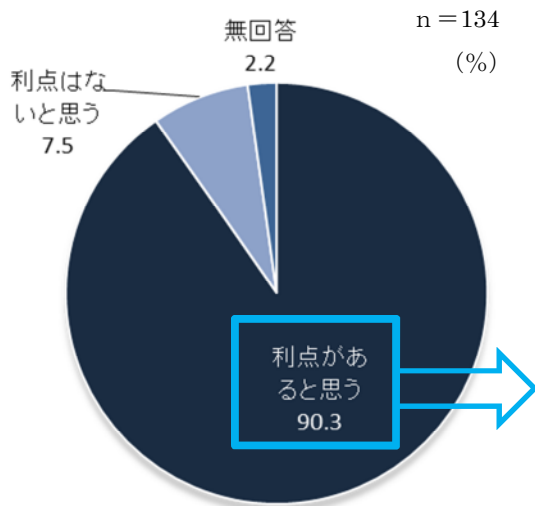


#### 結婚の利点

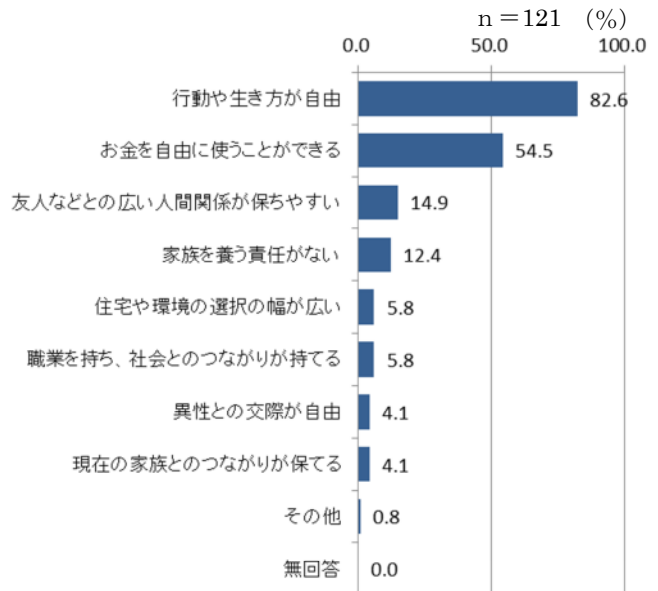


問10-2 今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にない利点があると思いますか。左下の枠のあたりはまる番号に○をつけてください。また、「1.」に○をつけた方は右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで番号に○をつけてください。

独身生活には結婚生活にない利点はあるかという質問に対し、「利点があると思う」は90.3%となっている。具体的な利点の内容は、「行動や生き方が自由」が82.6%と最も多く、次いで「お金を自由に使うことができる」の54.5%となっている。

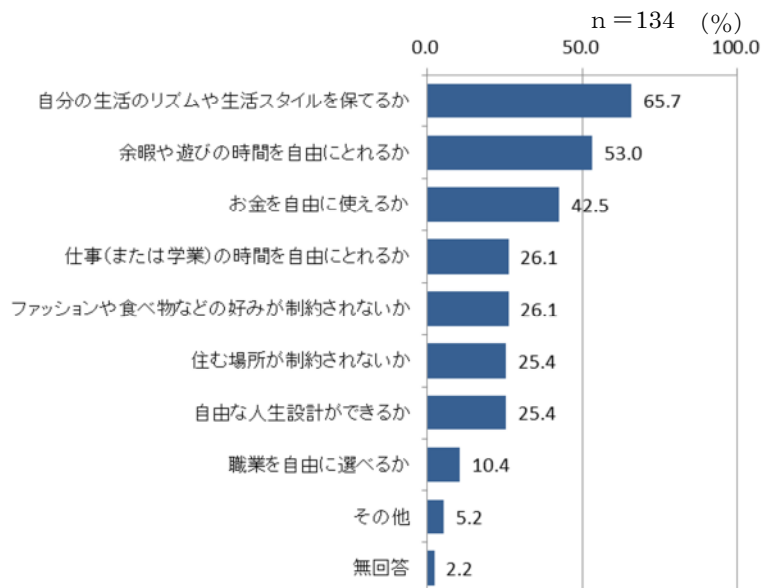


独身生活の利点



問10-3 あなたが結婚することを考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。  
(あてはまるものすべてに○)

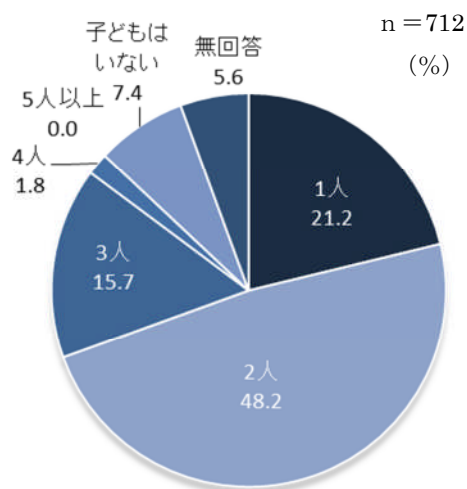
結婚することを考えたとき気がかりなことは、「自分の生活のリズムや生活スタイルを保てるか」が65.7%と最も多く、「余暇や遊びの時間を自由にとれるか」が53.0%、「お金を自由に使えるか」が42.5%と続いている。



問10で「2. 既婚である」「3. 結婚したが離別・死別している」に○をつけた方にお伺いします。

問10-4 あなたには、お子さんがいますか。(1つに○)

子どもの人数は、「2人」が48.2%と最も多く、「1人」が21.2%、「3人」が15.7%などとなっている。また、「子どもはいない」は7.4%となっている。

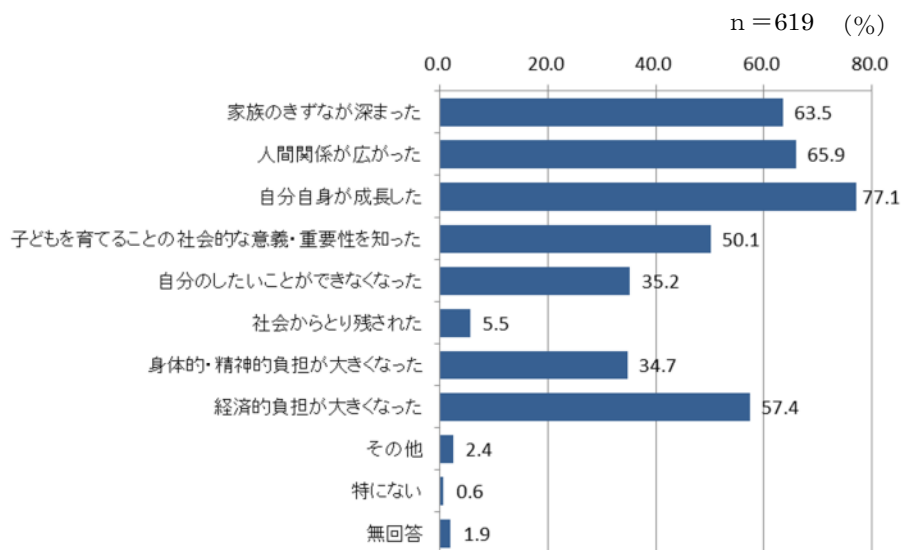


問10-4でお子さんの人数に○をつけた方にお伺いします。

問10-4-1 子育てを経験して、あなたは次のようなことを感じることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

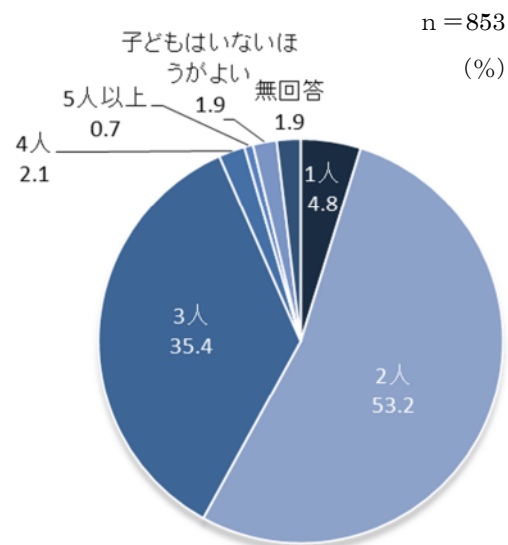
子育てを経験して感じることは、「自分自身が成長した」が77.1%と最も多く、「人間関係が広がった」は65.9%、「家族のきずなが深まった」は63.5%となっている。



問11はすべての方にお伺いします。

問11 あなたにとって、理想とする（理想と考えていた）お子さんは、何人ですか。（1つに○）

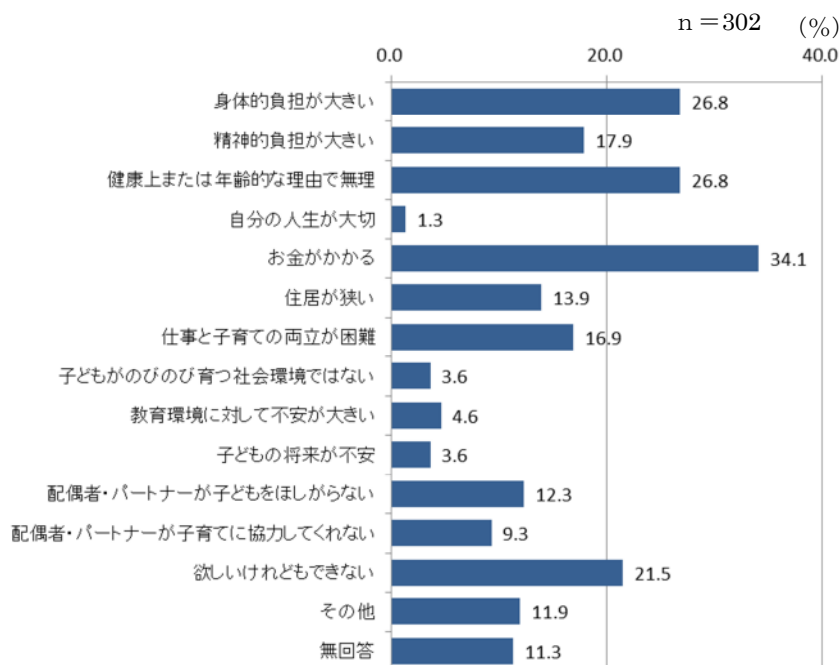
理想とする子どもの人数は、「2人」が53.2%と最も多く、「3人」が35.4%、「1人」が4.8%となっている。また、「子どもは少ないほうがよい」は1.9%となっている。



問12は、問11の理想とするお子さんの人数より実際のお子さんの人数が少ない（少なかった）方にお伺いします。

問12 理想とするお子さんの人数より、実際のお子さんの人数が少ない（少なかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

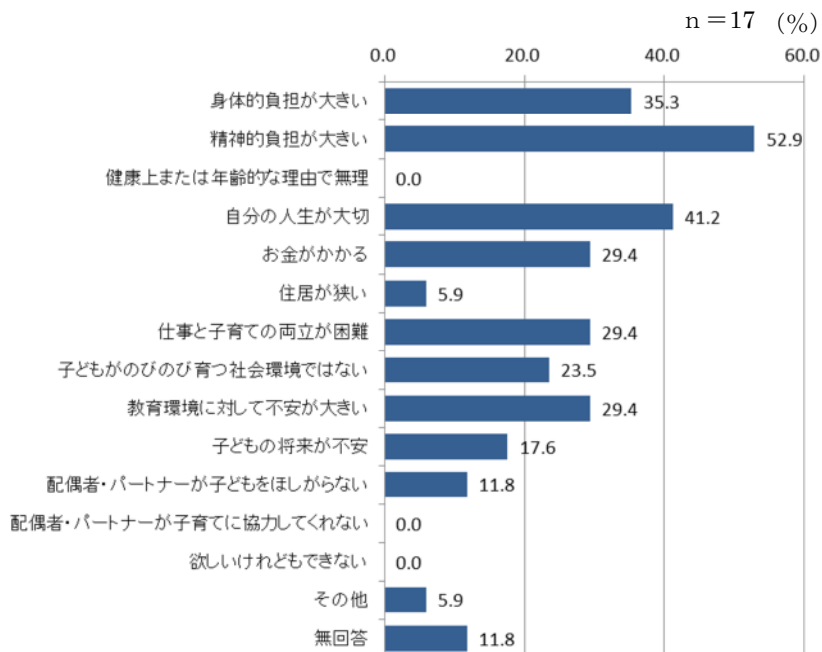
理想とする子どもの人数より実際の子どもの人数が少ない理由は、「お金がかかる」が34.1%と最も多く、「身体的負担が大きい」「健康上または年齢的な理由で無理」が26.8%で続いている。



問11で「6. 子どもはいないほうがよい」に○をつけた方にお伺いします。

問13 お子さんがいないほうがよい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

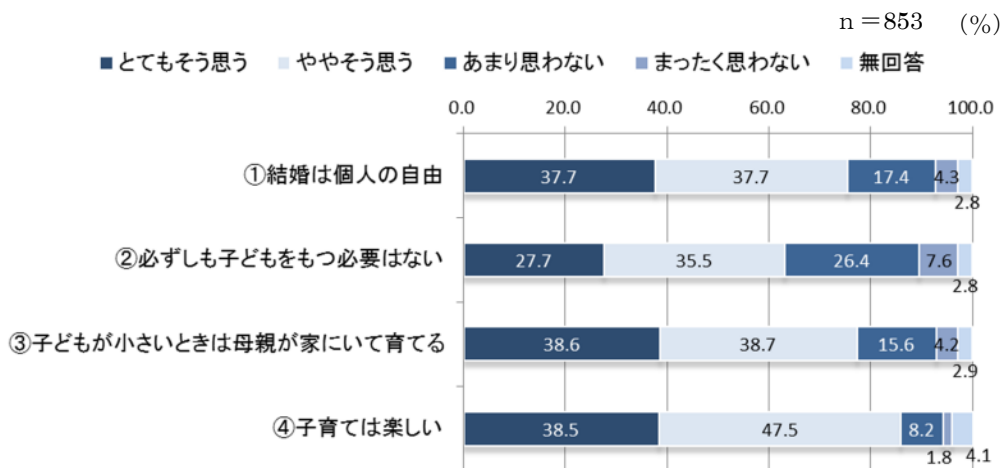
子どもはいないほうがよい理由は、「精神的負担が大きい」が52.9%と最も多く、次いで「自分の人生が大切」が41.2%、「身体的負担が大きい」が35.3%となっている。



問14 結婚や子育てに関する考え方①～④について、あなたはどのように感じていますか。

(それぞれ1つに○)

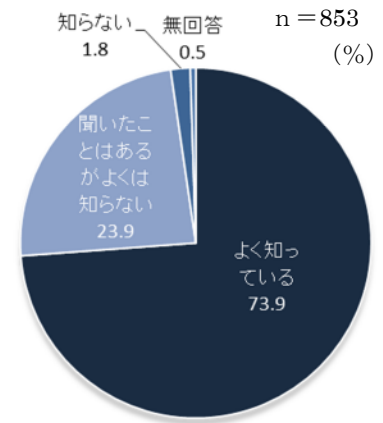
結婚や子育てに関する考え方のうち、「①結婚は個人の自由」について「とてもそう思う」と「ややそう思う」がそれぞれ37.7%となっている。「②必ずしも子どもを持つ必要はない」については、「とてもそう思う」が27.7%、「ややそう思う」が35.5%となっており、「あまり思わない」は26.4%となっている。「③子どもが小さいときは母親が家にいて育てる」については、「とてもそう思う」が38.6%、「ややそう思う」が38.7%で、「あまり思わない」の15.6%、「まったく思わない」の4.2%を大きく上回っている。「④子育ては楽しい」については、「とてもそう思う」が38.5%、「ややそう思う」が47.5%となっており、「そう思う」割合は他の項目に比べて多い。



## 4. 少子化について

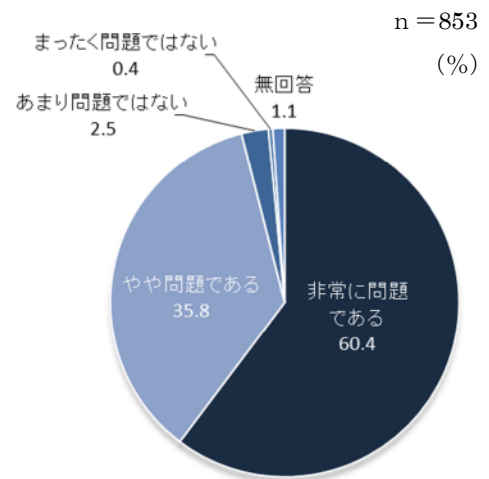
問15 現在、出生率が低下し、子どもの数が減少してきていますが、あなたはこのことを知っていますか。(1つに〇)

出生率が低下し、子どもの数が減少していることについて、「よく知っている」は73.9%、「聞いたことはあるがよく知らない」は23.9%となっている。



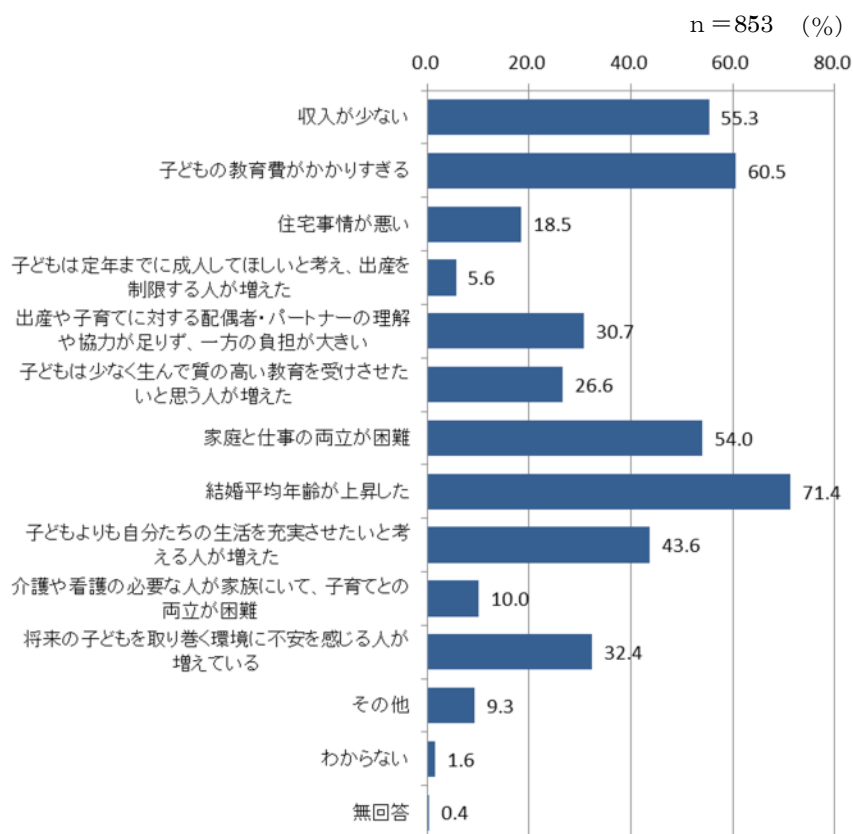
問16 現在、出生率が低下していることについて、どう思いますか。(1つに〇)

出生率が低下していることについて、「非常に問題である」は60.4%で、「やや問題である」とあわせて96.2%となっている。



**問17 あなたは、出生率が低下している理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)**

出生率が低下している理由として考えられるものは、「結婚平均年齢が上昇した」が71.4%、「子どもの教育費がかかりすぎる」が60.5%、「家庭と仕事の両立が困難」が54.0%、「収入が少ない」が55.3%などとなっている。

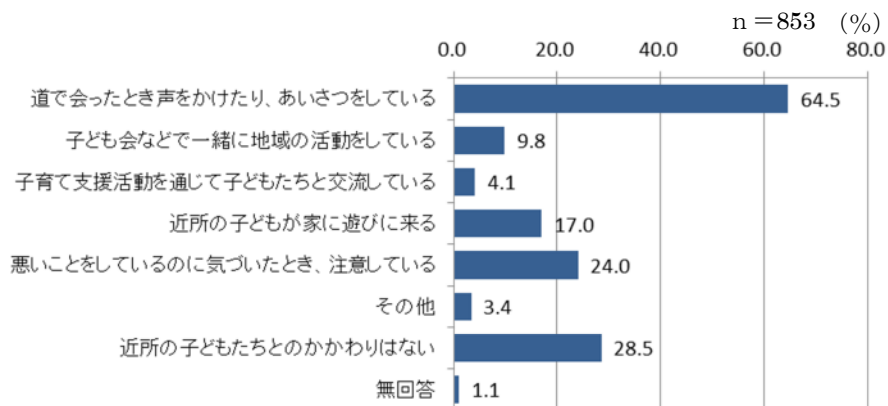


**5. 子どもや子育てに関することについて**

**問18 あなたは、ふだん、近所の子どもたちとどのように接していますか。**

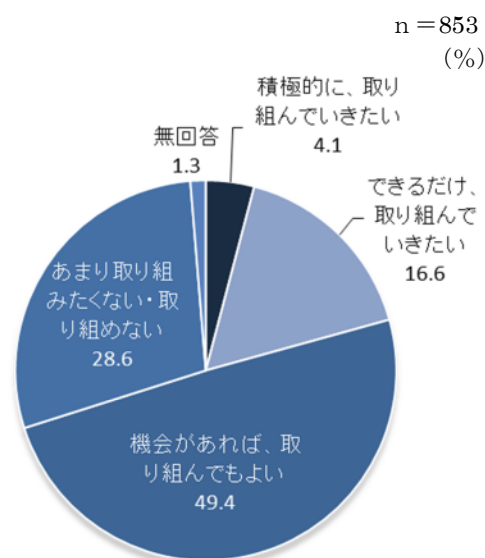
(あてはまるものすべてに○)

ふだんの近所の子どもたちとの接し方は、「道であったとき声をかけたり、あいさつをしている」が64.5%、「悪いことをしているのに気づいたとき、注意している」が24.0%、「近所の子どもが家に遊びに来る」が17.0%などとなっている一方、「近所の子どもたちとのかかわりはない」は28.5%となっている。



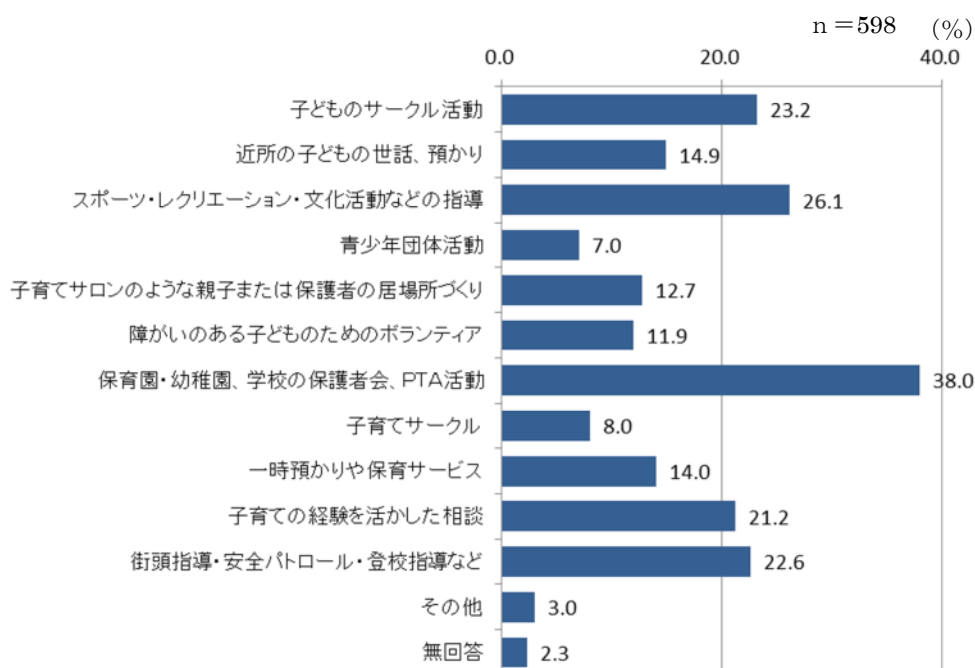
**問19 あなたは、今後子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加したいと思いますか。(1つに〇)**

子どもたちや子育て家庭に対する活動への参加意欲は、「機会があれば、取り組んでもよい」が 49.4%、「できるだけ、取り組んでいきたい」が 16.6%となっている一方、「あまり取り組みたくない・取り組めない」についても 28.6%となっている。



問19で「1. 積極的に、取り組んでいきたい」「2. できるだけ、取り組んでいきたい」「3. 機会があれば、取り組んでもよい」に〇をつけた方にお伺いします。  
**問19-1 どのような、子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)**

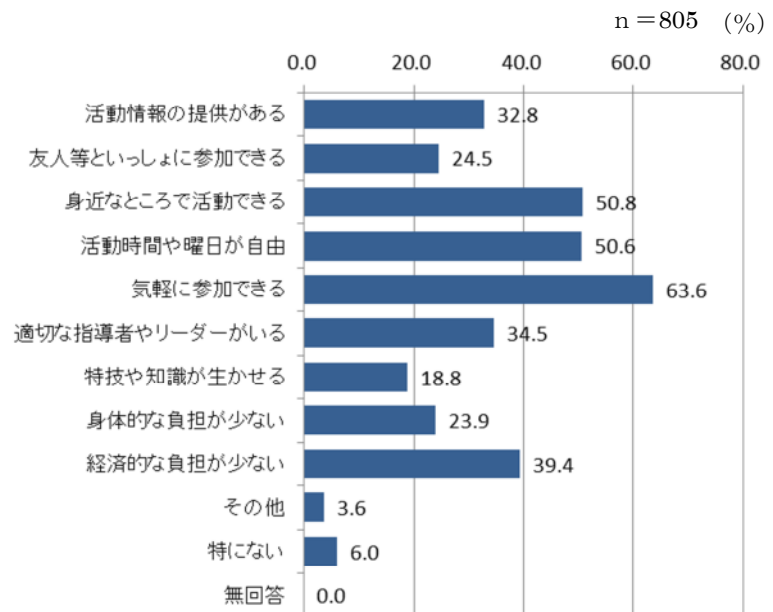
参加したい活動の内容は、「保育園・幼稚園、学校の保護者会、PTA 活動」が 38.0%と最も高く、そのほか「スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導」が 26.1%、「子どものサークル活動」が 23.2%、「街頭指導・安全パトロール・登校指導など」が 22.6%、「子育ての経験を活かした相談」が 21.2%などとなっている。





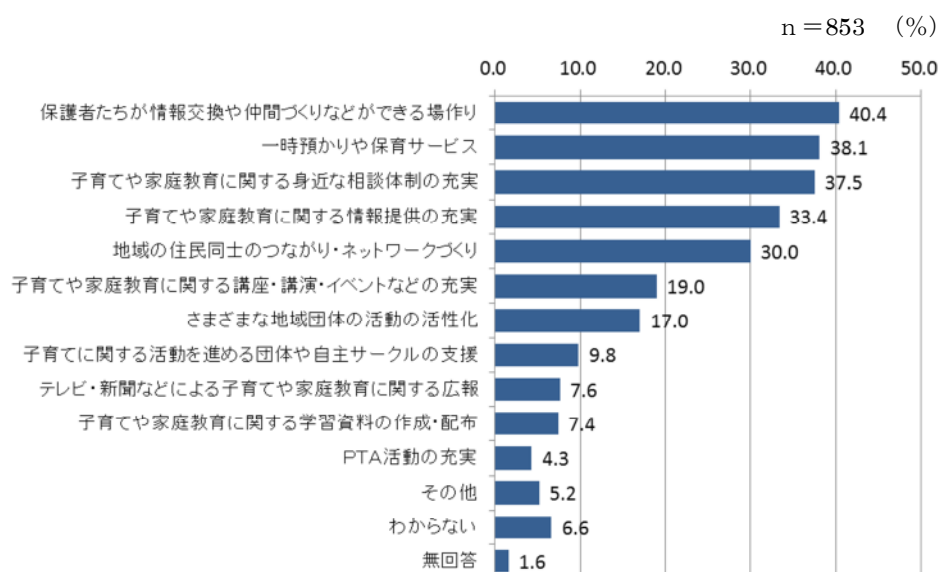
**問19-2 どのようなことが整っていれば、子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

活動に参加しやすい条件は、「気軽に参加できる」が63.6%と最も多く、次いで「身近なところで参加できる」が50.8%、「活動時間や曜日が自由」が50.6%となっている。



**問20 あなたは、子育てや家庭教育の支援のために、何が必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(3つに○)**

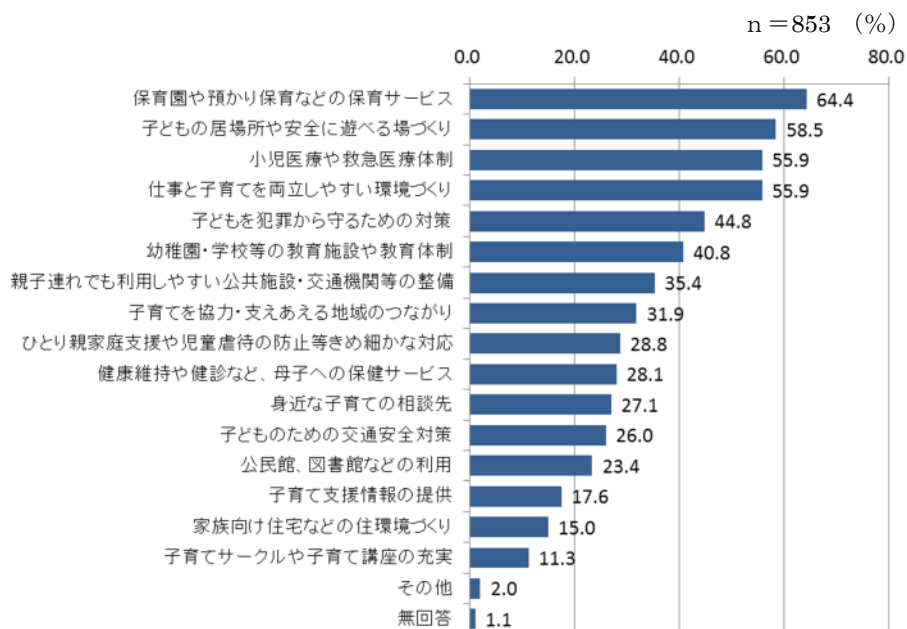
子育てや家庭教育の支援のために必要だと思うことは、「保護者たちが情報交換や仲間づくりなどができる場作り」が40.4%、「一時預かりや保育サービス」が38.1%、「子育てや家庭教育に関する身近な相談体制の充実」が37.5%などとなっている。



## 6. 子育て環境について

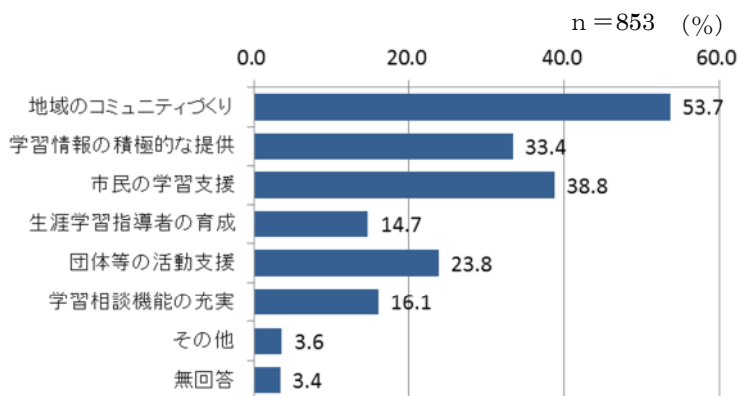
問21 安心して子育てができ、子どもたちがのびのびと育つことのできる環境づくりのために、ぜひ充実していくべきだと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育て環境について充実していくべきと思うことは、「保育園や預かり保育などの保育サービス」が64.4%と最も多く、「子どもの居場所や安全に遊べる場づくり」が58.5%、「小児医療や救急医療体制」、「仕事と子育てを両立しやすい環境づくり」がそれぞれ55.9%となっている。



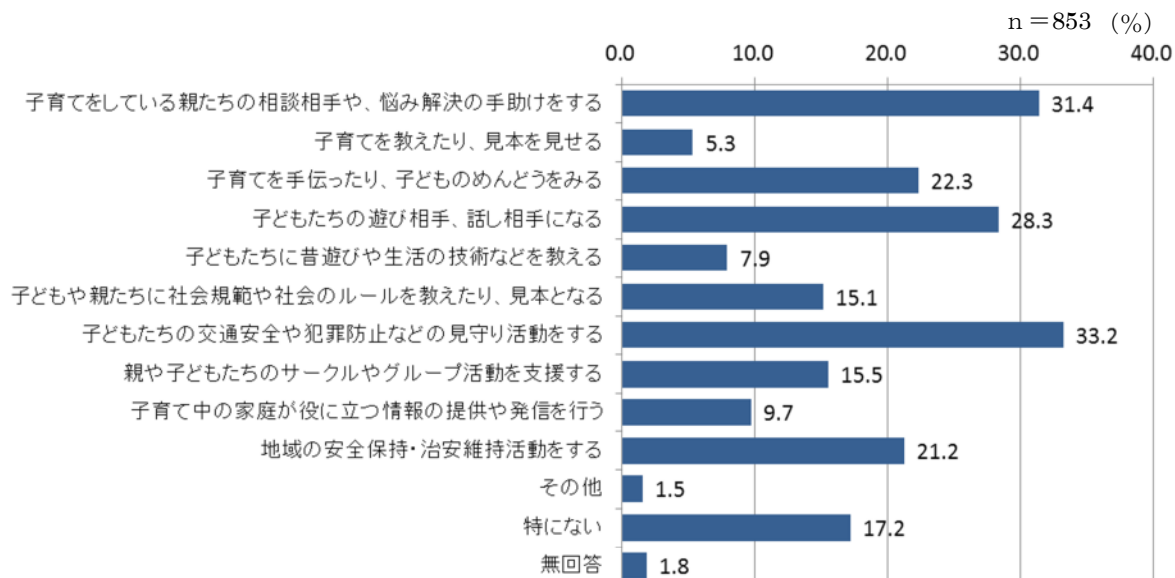
問22 あなたが公民館などの生涯学習施設に求めることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

公民館などの生涯学習施設に求めることは、「地域のコミュニティづくり」が53.7%と最も多く、「市民の学習支援」が38.8%、「学習情報の積極的な提供」が33.4%となっている。



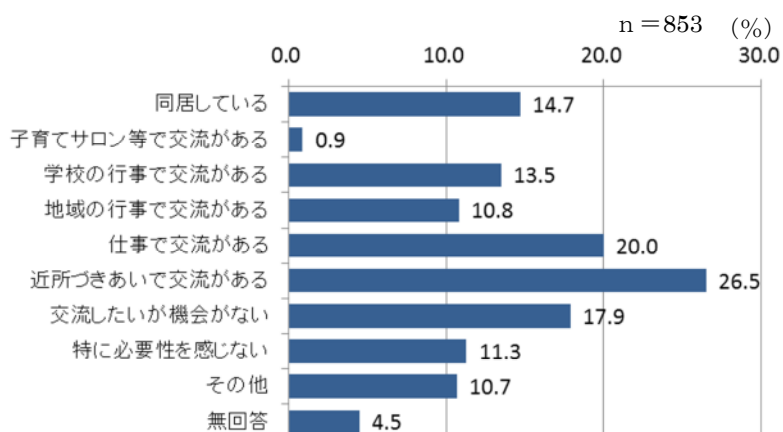
**問23 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、あなたが身近でできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために身近でできることは、「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」が33.2%と最も多く、次いで「子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする」が31.4%となっている。



**問24 あなたは、高齢者(概ね65歳以上の方)や子どもなどと世代間で交流する機会をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)**

世代間で交流する機会があるかという質問について、「近所づきあいで交流がある」が26.5%、「仕事で交流がある」が20.0%、「同居している」が14.7%などとなっており、「交流したいが機会がない」は17.9%、「特に必要性を感じない」は11.3%となっている。



**問25 子どもには、高齢者（概ね65歳以上の方）との交流の機会があるとよいと思いますか。**

子どもには高齢者との交流の機会があるとよいかという質問に対して、「はい」は90.4%、「いいえ」は4.6%となっている。

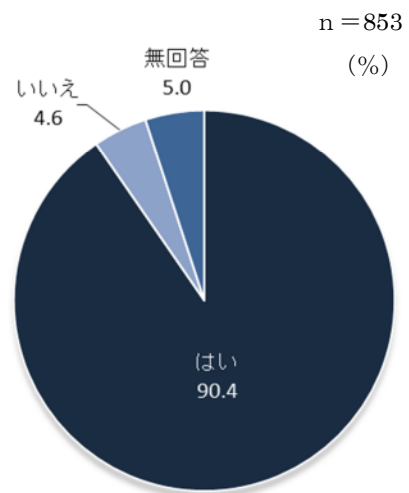
526人の方に記述をしていただいた。その中から一部を紹介する。

**<はい>の理由**

- ・幼稚園や小学校などでそういう機会があり、楽しそうだった
- ・人のやさしさや敬える気持ちを知ることができる
- ・いい部分もそうでない部分も含めていろいろなことを学べると思う  
世の中には、いろいろな人がいるということを知ることができる
- ・子どもたちに安心感が生まれる。人生経験豊富なので子どもたちが教わる事が多いと思う
- ・お互いの刺激になる
- ・3世代で住んでいる子どもは落ち着いていると思う
- ・昔の色々な話や遊びを経験できる
- ・死や老いを近くで見ることが子どもには必要
- ・歴史や文化を継承していく事は大切であるため
- ・祖父母と同居していないため
- ・あえて交流の機会を設けないとできない
- ・子どもは昔の遊びを教えられ、お年よりは小さい子とふれあい、元気になるから
- ・子どもにはできるだけ多くの人に顔を知ってもらった方が何かと安心できる
- ・核家族の地域であるため
- ・敬語を使ったり、体を気遣ったり、子ども同士ではできないコミュニケーションができるから
- ・「子どもの声がうるさい」等の苦情は、子育てを終えた人たちが小さな子どもと交流がないから起こるのだと思う  
子どもはうるさい（にぎやか）ものだという事を思い出してほしい、子どもの声は地域を明るくするものだと思う

**<いいえ>の理由**

- ・特定するのではなく、あらゆる年代との交流が必要
- ・特に必要性を感じない

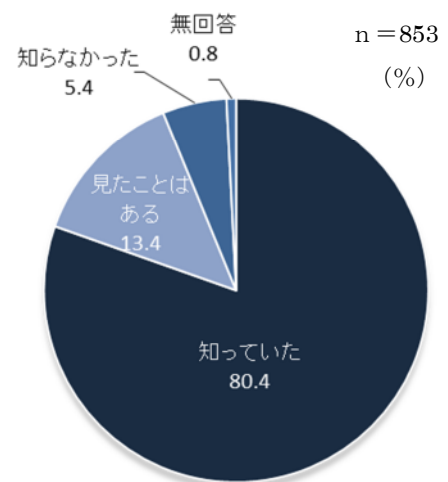


**問26 あなたはマタニティマークを知っていましたか。**

マタニティマークを知っていたかという質問について、「知っていた」は80.4%、「見たことはある」は13.4%となっており、反対に「知らなかった」は5.4%となっている。



マタニティマーク

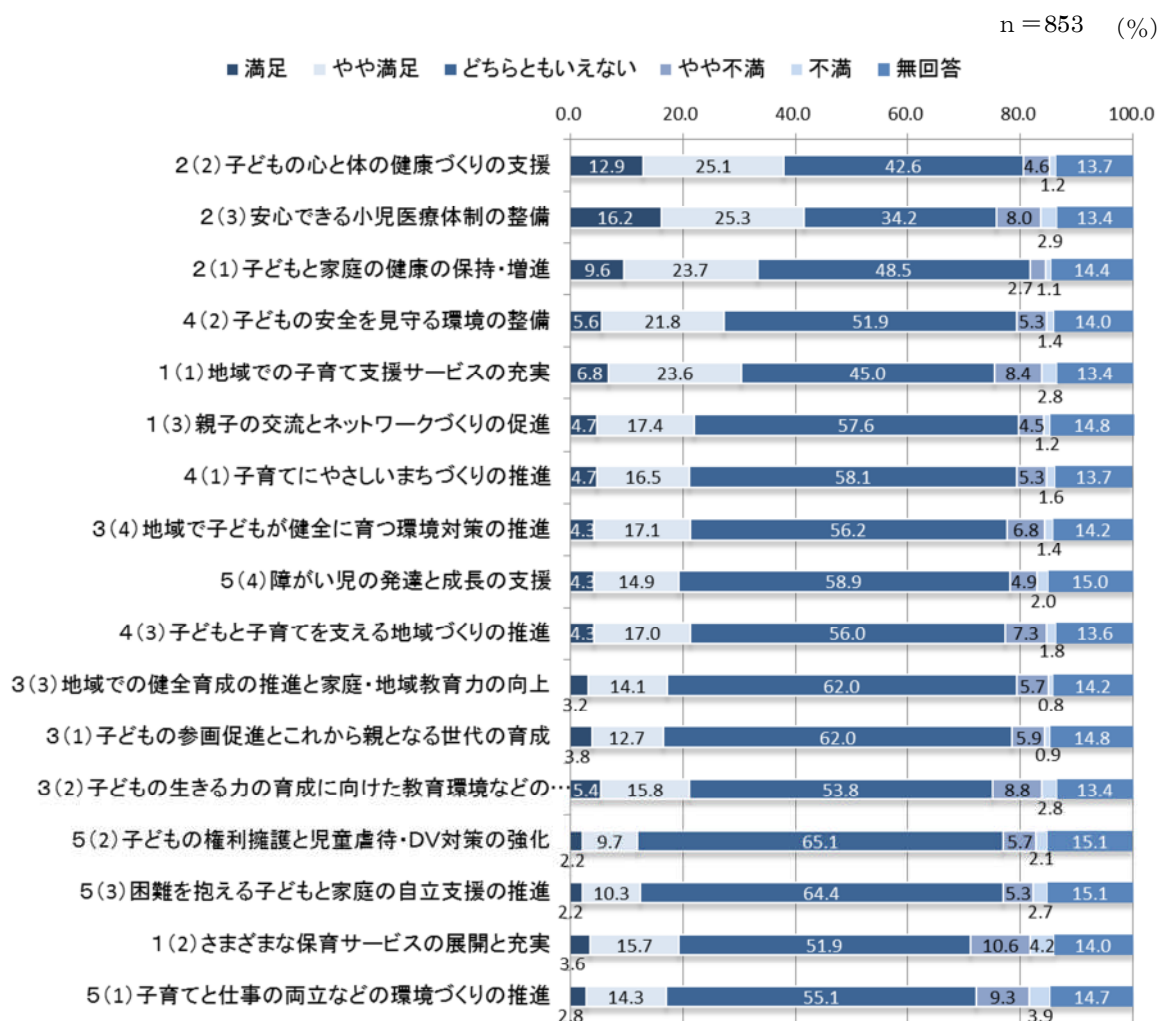


## 7. 浦安市子育て支援総合計画について

市では、「浦安市子育て支援総合計画」により子育て支援の施策・事業を推進してきました。現在の子育て環境等をみたときに、それぞれの施策の推進状況の満足度、また、今後取り組む上で、それぞれの施策の重要性を選んでください。（項目ごとに、満足度・重要性それぞれ1つずつに〇）

子育て支援の施策・事業について、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が高いのは、「安心できる小児医療体制の整備」が41.5%、「子どもの心と体の健康づくりの支援」が38.0%、「子どもと家庭の健康の保持・増進」が33.3%となっている。一方、「さまざまな保育サービスの展開と充実」、「子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備」、「子育てと仕事の両立などの環境づくりの推進」等で不満の割合が高くなっている。

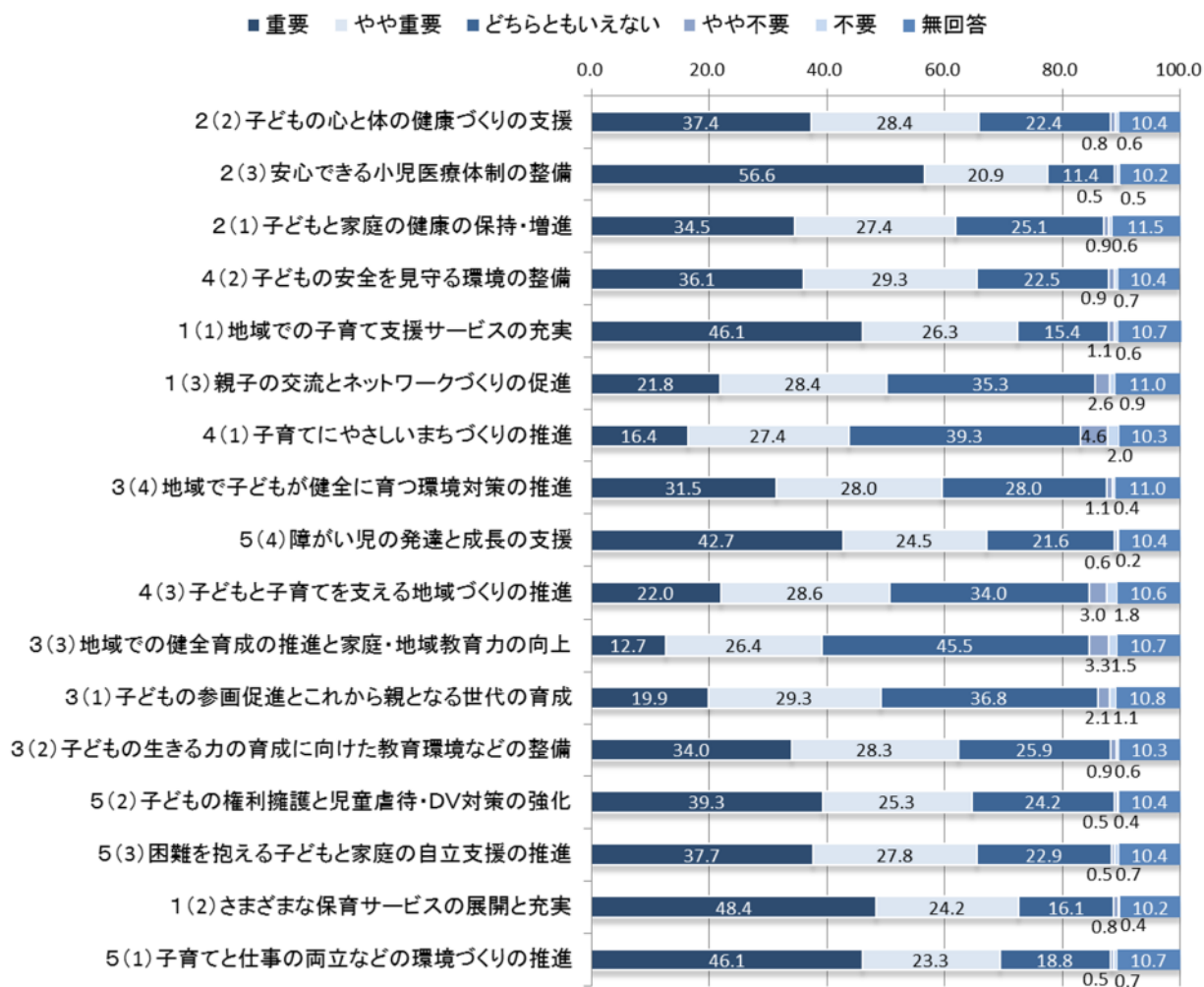
### 満足度



各施策の「重要」と「やや重要」を合わせた重要性の高い項目は、「さまざまな保育サービスの展開と充実」が72.6%、「子育てと仕事の両立などの環境づくりの推進」が69.4%など満足度の低い施策の充実のほか、「安心できる小児医療体制の整備」が77.5%、「地域での子育て支援サービスの充実」が72.4%など満足度の高い施策の更なる拡充が求められている。

### 重要度

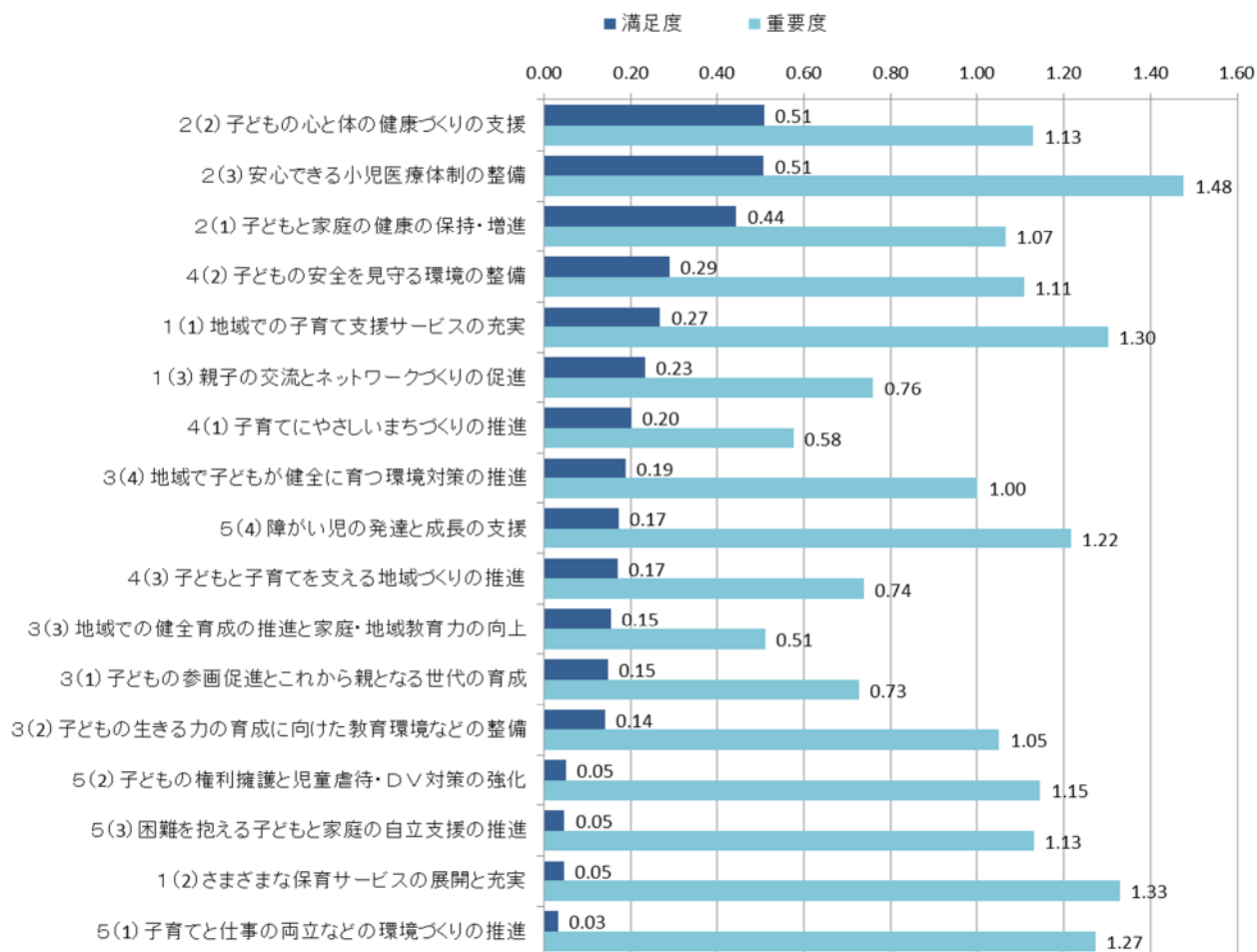
n = 853 (%)



満足度、重要度を回答の割合を重みづけした加重平均（計算式はグラフの下に記載）でみると、すべての項目がプラスの評価となっており、“どちらかといえば満足”していることがうかがえる。満足度よりも重要度のほうが高く、各施策ともその推進が求められている。

### 満足度と重要度の加重平均

n = 853 (%)



### 加重平均の算出方法（満足度の場合）

$$\text{加重平均} = \frac{(\text{満足} \times 2 + \text{やや満足} \times 1 - \text{やや不満} \times 1 - \text{不満} \times 2)}{(\text{満足} + \text{満足} + \text{不満} + \text{不満})}$$

※「無回答」を除いて算出している。





## 第6部 妊婦アンケート

---



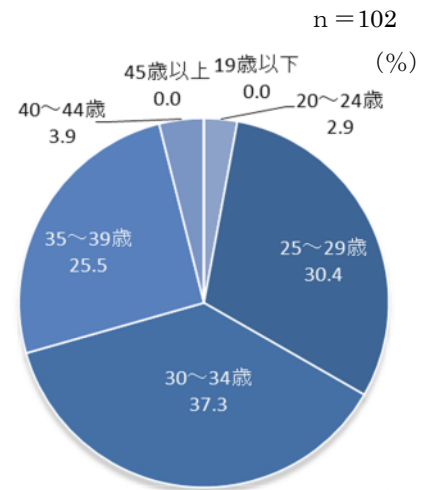
## 第6部 妊婦アンケート

※妊婦アンケートの回答者数は102であり、集計の基本はこの数である。限定設問は少なくなる。

### 1. あなたのことについて

問1 あなたは、現在、何歳ですか。(数字を記入)

回答者の年齢は、30歳代が62.8%（「30～34歳」37.3%、「35～39歳」25.5%）を占め、次いで20歳代となっている。

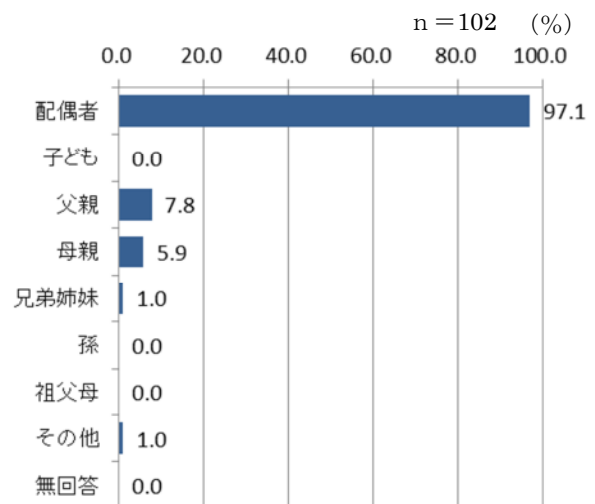


問2 現在、あなたといっしょに暮らしているご家族は、どなたですか。

※単身赴任等により、一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

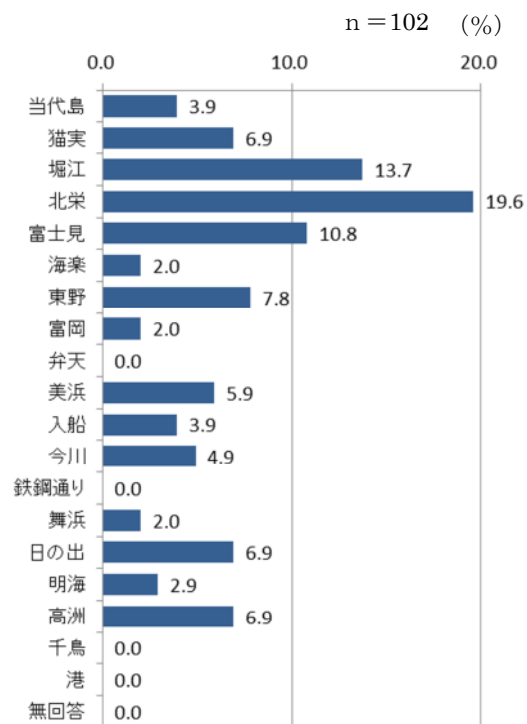
(あてはまるものすべてに○)

回答者と一緒に暮らしているご家族は、配偶者が97.1%とほとんどを占めている。親世代は、「父親」が7.8%、「母親」が5.9%と少ない。



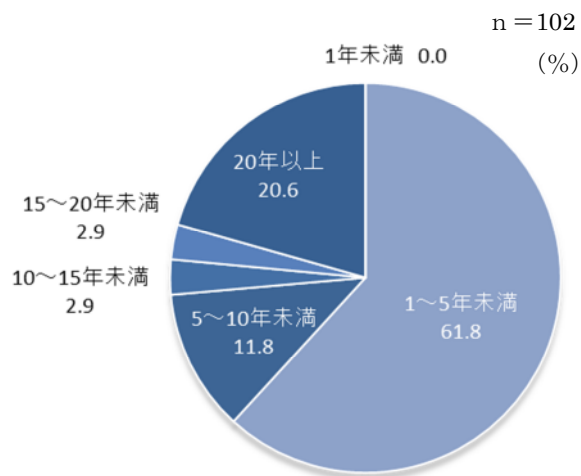
**問3 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○をつけ、カッコ内に丁目の数字を記入)**

お住まいの地区は、「北栄」が 19.6%と最も多く、次いで「堀江」が 13.7%、「富士見」が 10.8%などとなっている。



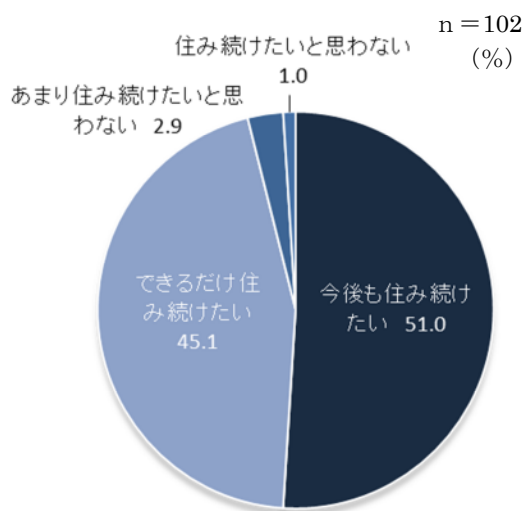
**問4 あなたは、浦安市に住んで通算でおおよそ何年になりますか。(数字を記入)**

浦安市に住んでからの通算年数は、「1～5年未満」が 61.8%を占める。



問5 あなたは、今後も浦安市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

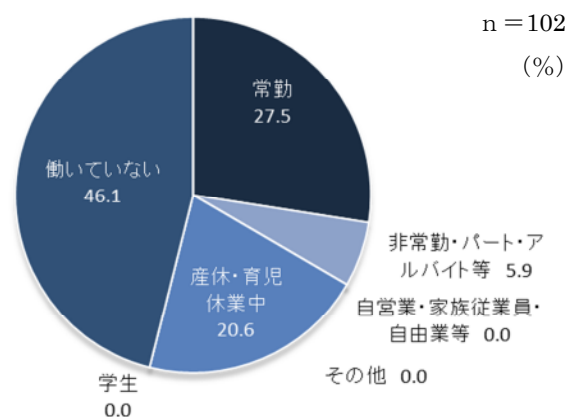
「今後も浦安市に住み続けたい」とする回答が 51.0%、「できるだけ住み続けたい」とする回答が 45.1%であり、住み続けたいとする回答がほとんどを占める。



## 2. 仕事や生活などについて

問6 あなたは、現在働いていますか。(1つに○)

「働いていない」とする回答が 46.1% であり、「常勤」「産休・育児休暇中」等の働いている方は過半を占める。



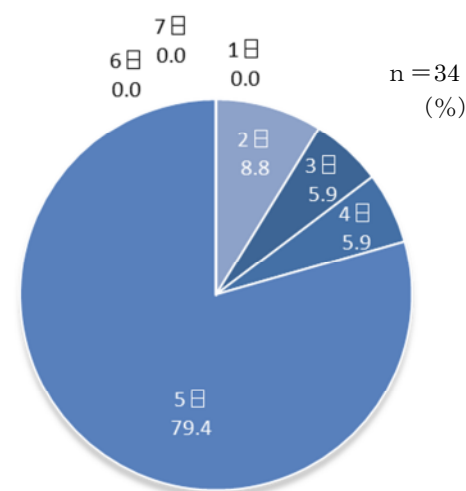
問6で「1. 常勤」「2. 非常勤・パート・アルバイト等」「3. 自営業・家族従業員・自由業等」「4. その他」に○をした方にお伺いします。

問6-1 あなたが働いているおおよその日数・時間や残業の状況をお答えください。

### ■働いている日数

働いている方について、「働いている日数」は「5日」が約8割を占める。

### 働いている日数

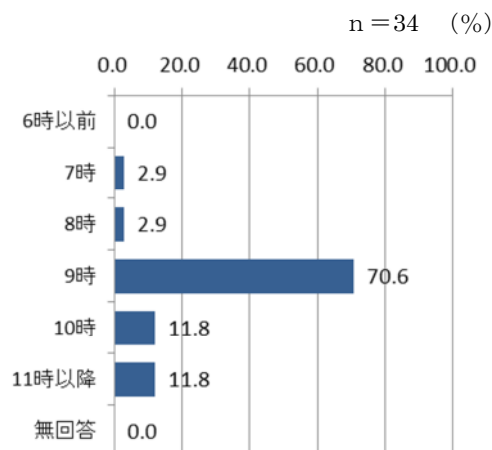


### ■始業時間、就業時間

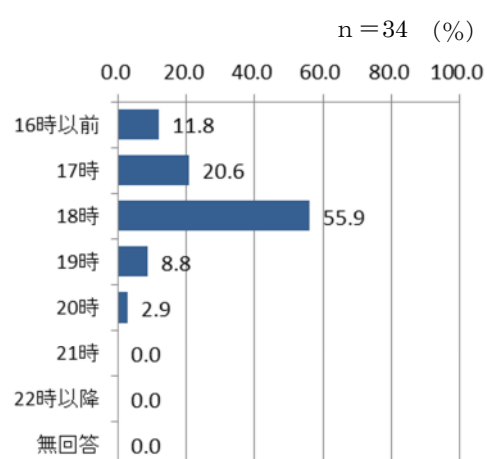
働いている方について、始業時間は「9時」が70.6%、8時以前の方を含めて、4分の3の方が9時までの始業となっている。

働いている方の終業時間は18時が55.9%と最も多く、17時以降の終業時間が約9割を占める。

### 始業時間



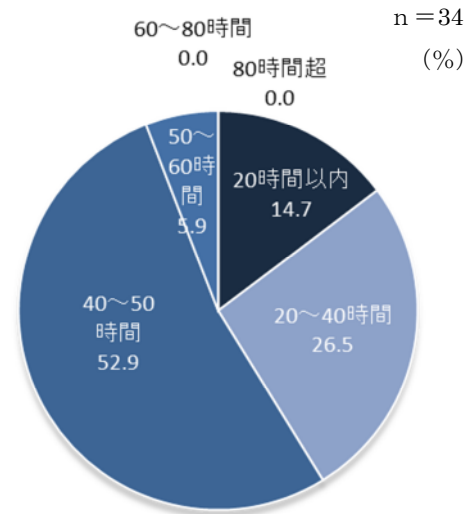
### 終業時間



■働いている時間（1週間の合計就労時間）

働いている方について、1週間のうち「働いている時間（1週間の合計就労時間）」は「40～50時間」が52.9%と過半を占める。

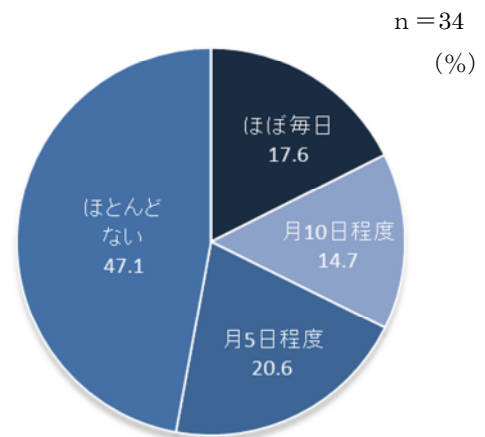
1週間の合計就労時間



■残業の状況

働いている方について、「残業の状況」は「ほとんどない」が47.1%と多くを占めるが、「ほぼ毎日」が17.6%など、残業のある方が過半を占める。

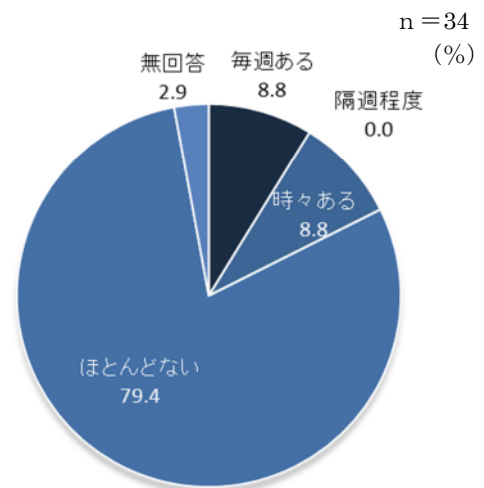
残業の状況



■休日出勤の状況

働いている方について、休日出勤は「ほとんどない」が79.4%と多くを占めるが、休日出勤のある方も「時々ある」が8.8%、「毎週ある」が8.8%となっている。

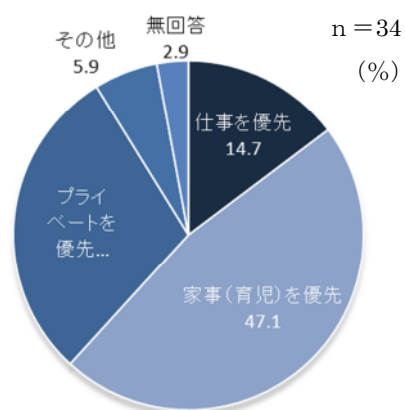
休日出勤の状況



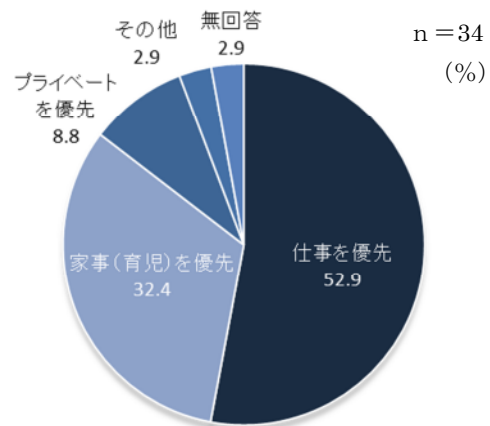
**問6-2 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）」・「プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」についてお答えください。（それぞれ1つに〇）**

働いている方の「仕事時間」と「家事（育児）」・「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」では「家事（育児）を優先」が47.1%に対して「仕事を優先」が14.7%となっているが、「現実」には「家事（育児）を優先」32.4%に対して「仕事を優先」52.9%と、差が生じている。

希望



現実

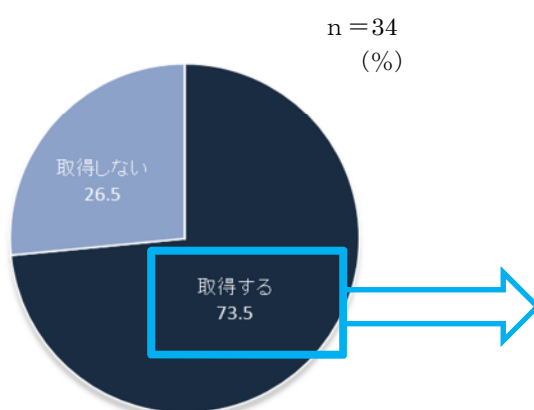


**問6-3 育児休業を取得する予定ですか。（1つに〇）**

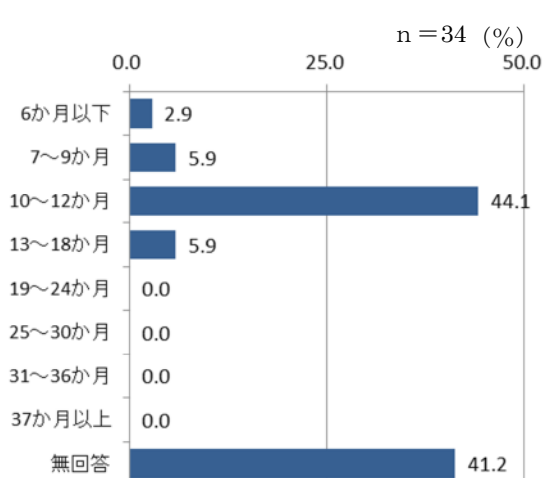
働いている方について、育児休暇の取得予定は「取得する」が73.5%に対して「取得しない」が26.5%となっている。

育児休業を「取得する」との回答した方のうち、育児休暇については、「10～12か月」が44.1%となっているが、無回答の方も41.2%を占める。

育児休暇の取得の予定



育児休業を「取得する」回答者の予定期間

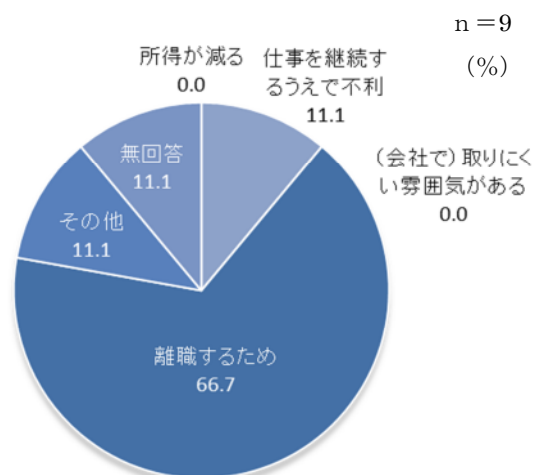




問6-3で「2. 取得しない」に○をつけた方にお伺いします。

問6-3-1 育児休業を取得しない理由は何ですか。(1つに○)

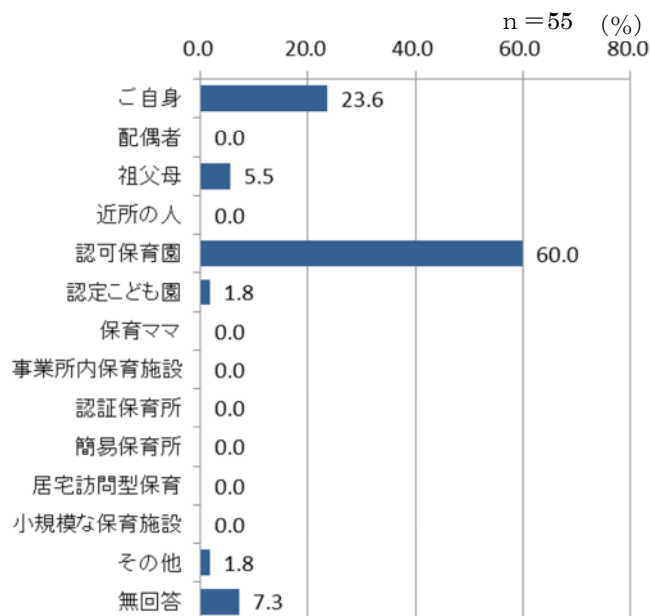
働いている方のうち、育児休業を「取得しない」とした方の「育児休業を取得しない理由」については、「離職するため」が66.7%と多くを占め、「仕事をするうえで不利」との回答も11.1%となっている。



問6で「1. 常勤」「2. 非常勤・パート・アルバイト等」「3. 自営業・家族従業員・自由業等」「4. その他」「5. 産休・育児休業中」に○をした方にお伺いします。

問7 育児休業取得後または育児休業を取得しない場合に、日常的にお子さんの世話をする方（施設）として考えているものは何ですか。(1つに○)

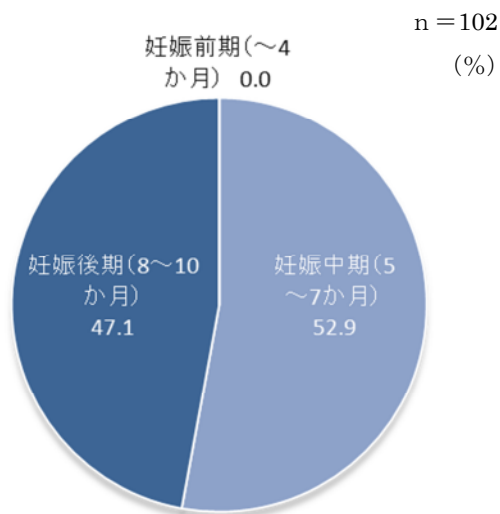
「働いている」または「産休・育児休業中」の方(回答者のうち「学生」と「働いていない」と回答された方を除く)の「育児休業取得後または育児休業を取得しない場合に、日常的にお子さんの世話をする方（施設）として考えているもの」について、「認可保育園」が60.0%を占める。



### 3. 妊娠中の日常生活について

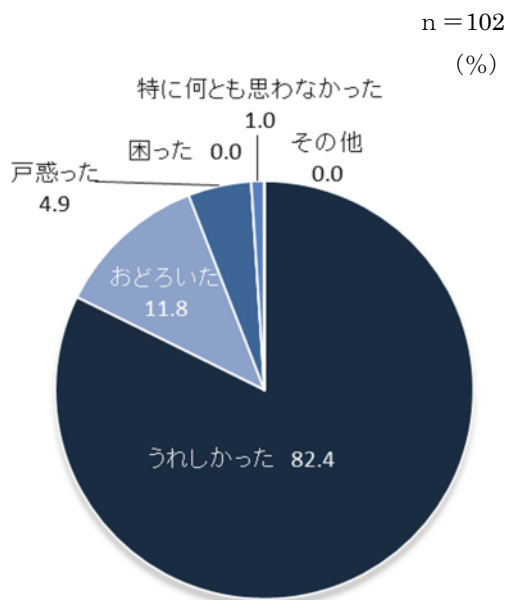
#### 問8 現在の状況は

現在の妊娠の状況について、妊娠中期（5～7か月）が52.9%、妊娠後期（8～10か月）が47.1%であり、妊娠前期（～4ヶ月）は回答者がいなかった。



#### 問9 妊娠がわかったときの気持ちを、次の中から選んでください。(1つに○)

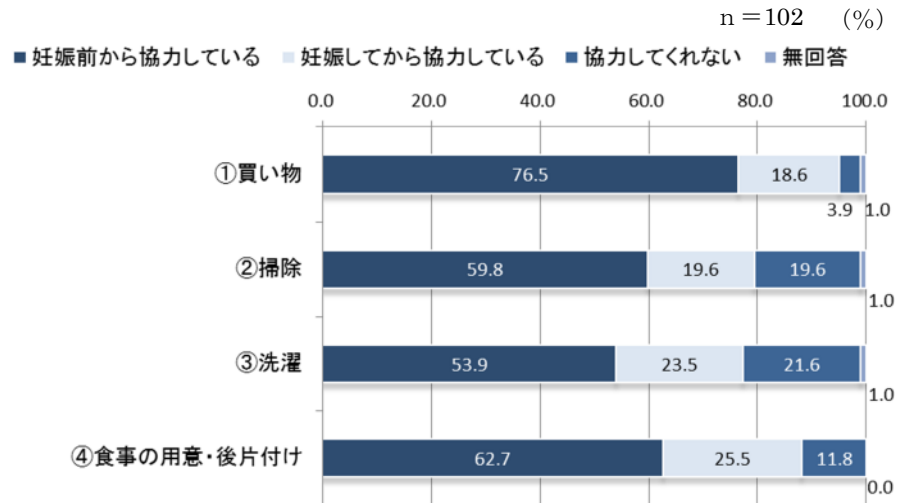
「妊娠がわかったときの気持ち」については、「うれしかった」が82.4%と多くを占めたが、「おどろいた」が11.8%、「戸惑った」4.9%などの回答もあった。



問10 妊娠後、パートナーは次の①から④についてどのように協力してくれますか。

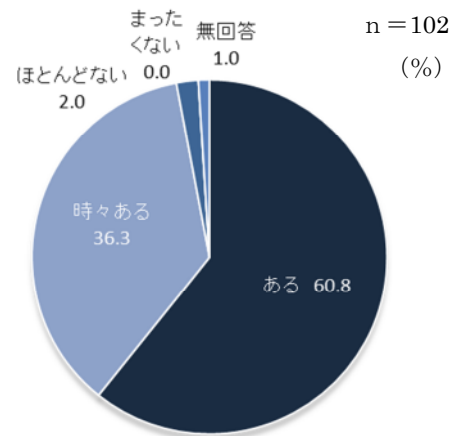
(それぞれ1つに〇)

家事について妊娠後のパートナーの協力状況については、「結婚前から協力している」との割合が「買い物」では76.5%を占めているが、「掃除」「選択」などは「協力してくれない」とする回答も約2割を占めるものとなっている。



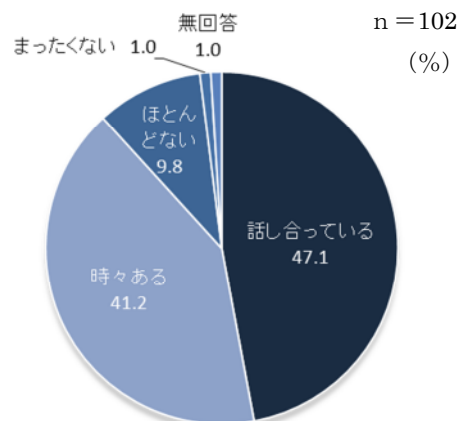
問11 パートナーと子育てについて話し合う時間はありますか。(1つに〇)

「パートナーと子育てについて話し合う時間」は、「ある」が60.8%、「時々ある」が36.3%とほとんどを占める。



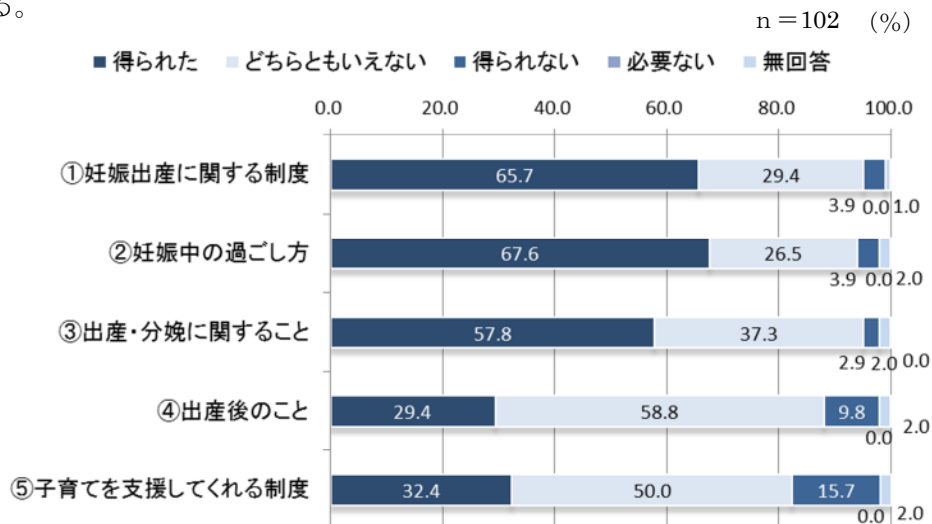
問12 パートナーと産後の家族生活について話し合っていますか。(1つに〇)

産後の家族生活の話し合いについては、「話し合っている」が47.1%、「時々ある」が41.2%の一方、「ほとんどない」「まったくくない」が合わせて10%以上の回答となっている。



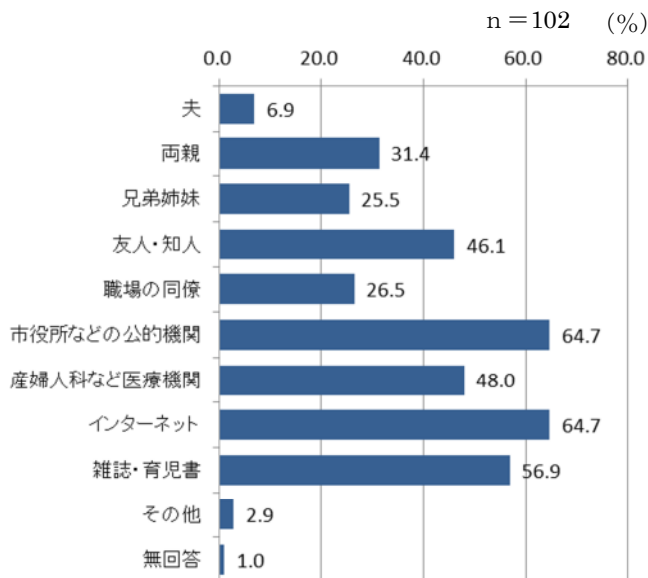
**問13 妊娠・出産に関する必要な次の①から⑤の情報は入手できていますか。(それぞれ1つに○)**

「妊娠・出産に関する必要な情報」の入手状況について、「得られた」とする割合が高い情報は、「妊娠出産に関する制度」(65.7%)、「妊娠中の過ごし方」(67.6%)、「出産・分娩に関すること」(57.8%)となっている。「出産後のこと」や「子育てを支援してくれる制度」などは、「得られない」とする割合がやや高いものとなっている。



**問14 どこから得た情報が役に立ちましたか。(あてはまるものすべてに○)**

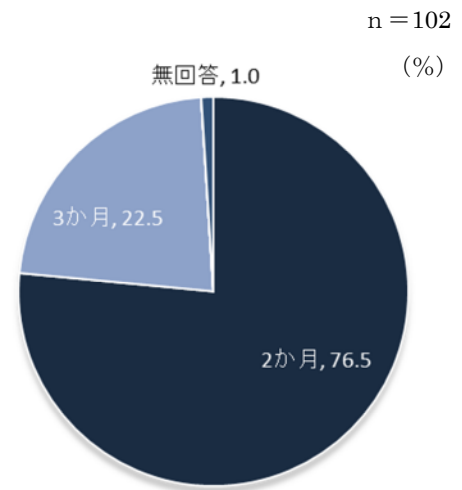
妊娠・出産に関する情報はどこから得たものが役立ったかについて、「市役所などの公的機関」と「インターネット」が64.7%と最も多く、その他、「雑誌・育児書」が56.9%、「産婦人科など医療機関」が48.0%、「友人・知人」が46.1%となっている。



## 4. 妊婦健診について

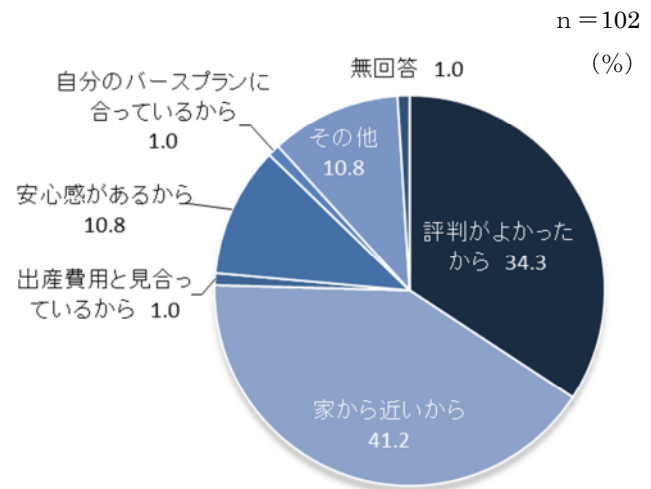
### 問15 妊婦健診へ行き始めたのは、妊娠何か月のときですか。(1つに○)

妊婦健診へ行き始めた時期については、「2ヶ月」が76.5%、「3ヶ月」が22.5%となっており、ほとんどが妊娠3か月までには妊婦健診に行っている。



### 問16 出産病院を選んだ理由は何ですか。(1つに○)

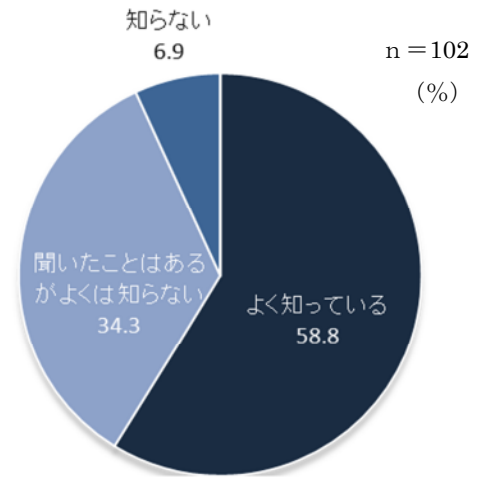
出産病院を選んだ理由については、「家が近いから」が41.2%と最も多く、次いで「評判がよかったから」が34.3%となっている。



## 5. 少子化について

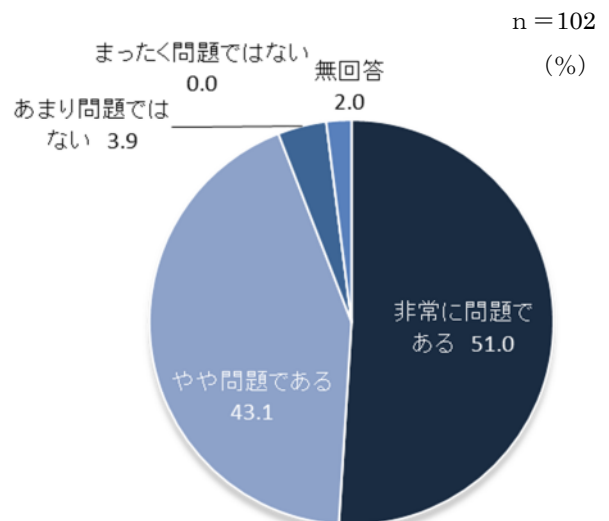
問17 現在、出生率が低下し、子どもの数が減少してきていますが、あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

出生率の低下と子どもの数の減少については、「よく知っている」が58.8%と多くを占め、あまりご存知ないとする回答(「聞いたことはあるがよくは知らない」(34.3%) + 「知らない」(6.9%))も4割以上を占める。



問18 現在、出生率が低下していることについて、どう思いますか。(1つに○)

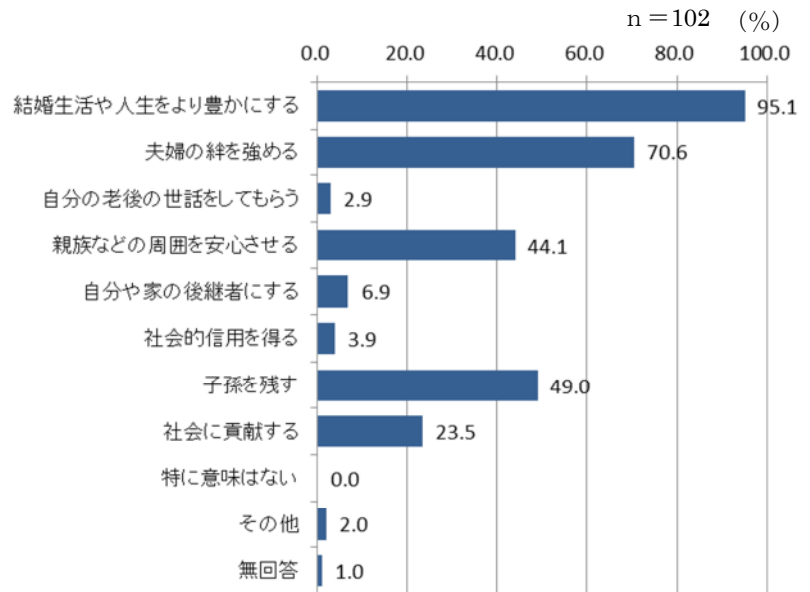
出生率の低下をどう思うかについては、「非常に問題である」が51.0%、「やや問題である」が43.1%となっており、問題と感じている回答がほとんどを占める。



問19 子どもを産み育てることは、あなたにとってどのような意味がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもを産み育てることの意味については、「結婚生活や人生をより豊かにする」(95.1%)、「夫婦の絆を強める」(70.6%)が主なものとなっており、次いで「子孫を残す」(49.0%)、「親族などの周囲を安心させる」(44.1%)となっている。

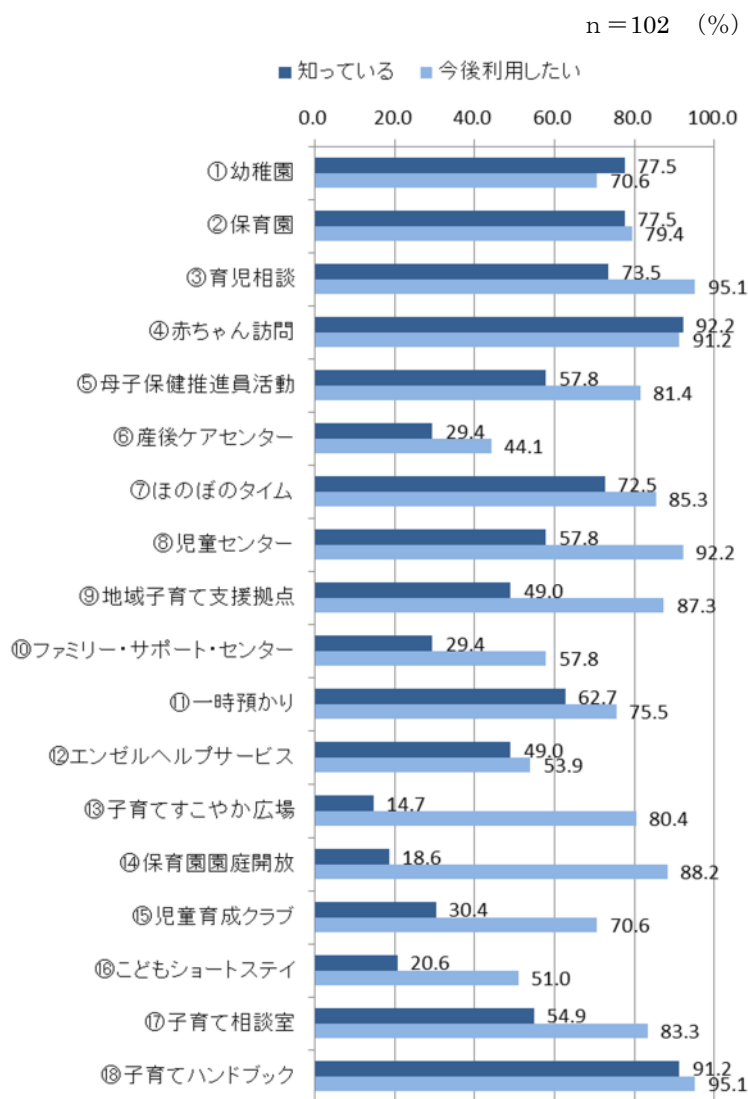


## 6. 必要な子育て支援施策などについて

問 20 下記の施策・事業等について知っていますか。また、今後利用したいと思いますか。事業の分野ごとに、A・Bについてお答えください。(それぞれ1つに○)

子育て支援施策について知っているという割合が9割を超える事業は、「赤ちゃん訪問」(92.2%)、「子育てハンドブック」(91.2%)である。一方、知っているという割合が2割未満に留まる事業は、「子育てすこやか広場」(14.7%)、「保育園園庭開放」(18.6%)である。

子育て支援施策の今後の利用意向において、今後利用したいとする割合が9割を超える事業は、「育児相談」(95.1%)及び「子育てハンドブック」(95.1%)、「児童センター」(92.2%)、「赤ちゃん訪問」(91.2%)である。





## 第7部 ウェブアンケート

---



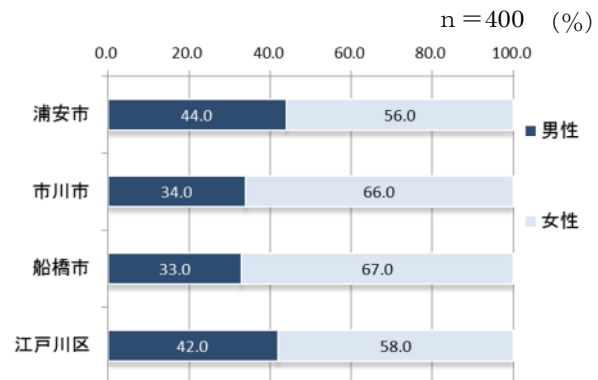
## 第7部 ウェブアンケート

※ウェブアンケートの回答者数は400であり、集計の基本はこの数であり、限定設問は少なくなる。

### 1. あなたご自身の事について

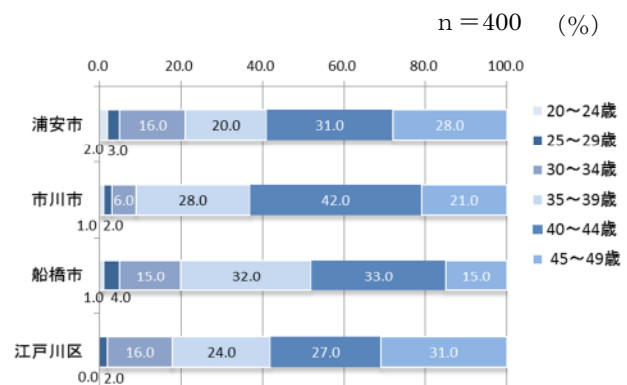
#### ①あなたの性別をお答えください。(お答えは1つ)

15歳以下の子どもがいる回答者の性別は、浦安市では「男性」が44.0%、「女性」が56.0%である。市川市、船橋市、江戸川区もいずれも「女性」が多くを占める。



#### ②あなたのご年齢をお答えください。(お答えは1つ)

回答者の年齢は、浦安市では「40～44歳」が31.0%と最も多く占め、次いで「45～49歳」が28.0%、「35～39歳」が20.0%である。市川市、江戸川区では40歳以上が過半を占める。船橋市は39歳未満の回答者が半数以上であり、他地域に比較して年齢の若い回答者が多い。

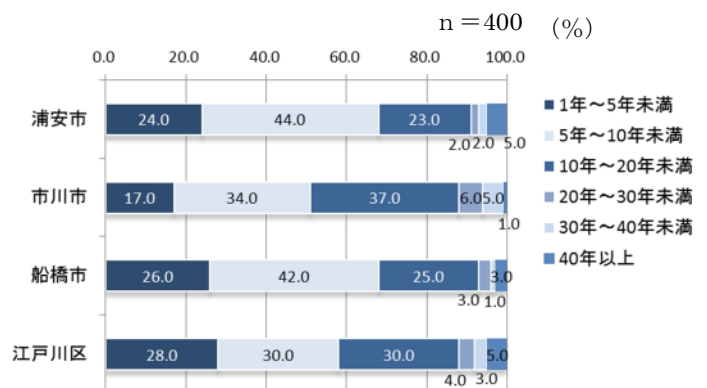


#### ③あなたのお住まいの地域をお答えください。(お答えは1つ)

本調査は、浦安市、市川市、船橋市、江戸川区の各都市100人、計400人の回答を得ている。

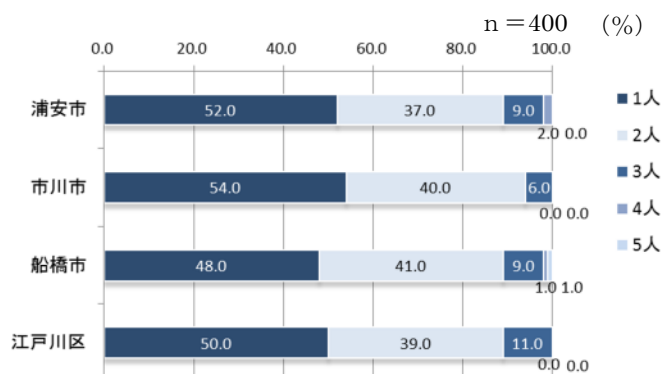
#### ④現在のお住まいに住み始めてからどれくらい経ちますか。(お答えは1つ)

現在の住まいに住み始めてからの年数は、浦安市では「1年～5年未満」が24.0%、「5年～10年未満」が44.0%であり、合計すると10年未満が約3分の2を占める。10年未満が占める割合は、船橋区が68%とあまり差がないが、市川市は51%、江戸川区は58%と浦安市と比較して少ないものとなっている。



⑤あなたに、0歳～中学生までのお子さんはいらっしゃいますか。いらっしゃる方は人数をお答えください。（お答えは1つ）

0歳～中学生までの子どもの人数については、浦安市では「1人」が52.0%、「2人」が37.0%である。他の都市とも1人または2人でほとんどを占める。



## 2. 子どもの年齢

⑥あなたの中学生以下のお子さんの年齢について、当てはまるものをすべてお答えください。

※1：2013年度（2013年4月1日～2014年3月31日）に誕生日を迎えた年齢でお答えください。

※2：前問でお答えいただいた【0歳～中学生までのお子さん】の人数分お答えください。  
あなたのご回答【●人】

※3：双子等の場合は、そのお子さんの年齢をそれぞれ選択してください。

子どもの年齢は、各都市で年齢別分布にやや相違がある。浦安市では6歳までの分布が、やや多い傾向がみられる。

### 子どもの年齢

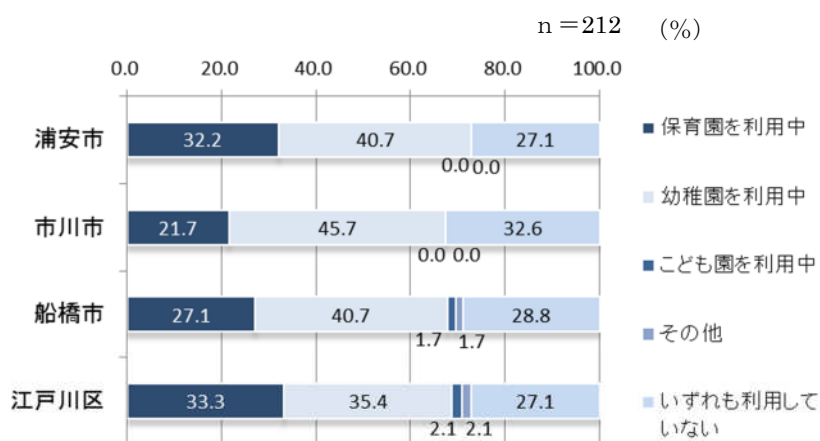
(%)

	浦安市	市川市	船橋市	江戸川区
0歳	9.0	4.0	12.0	6.0
1歳	12.0	6.0	8.0	8.0
2歳	8.0	8.0	14.0	9.0
3歳	13.0	6.0	5.0	15.0
4歳	6.0	14.0	12.0	11.0
5歳	19.0	6.0	15.0	8.0
6歳	12.0	13.0	14.0	9.0
7歳	13.0	8.0	8.0	12.0
8歳	9.0	10.0	16.0	11.0
9歳	7.0	14.0	14.0	12.0
10歳	12.0	13.0	10.0	10.0
11歳	6.0	8.0	9.0	11.0
12歳	11.0	9.0	7.0	13.0
13歳	7.0	14.0	7.0	6.0
14歳	9.0	10.0	6.0	7.0
15歳	8.0	9.0	9.0	13.0

⑦未就学のお子さんについてお伺いします。そのおさんは、保育園や幼稚園などを利用していますか。

「保育園や幼稚園」の利用について、浦安市では「保育園を利用中」が32.2%、「幼稚園を利用中」が40.7%、「いずれも利用していない」が27.1%である。他の都市も同様の傾向だが、市川市・船橋市では「保育園を利用中」とする回答がやや少ない。

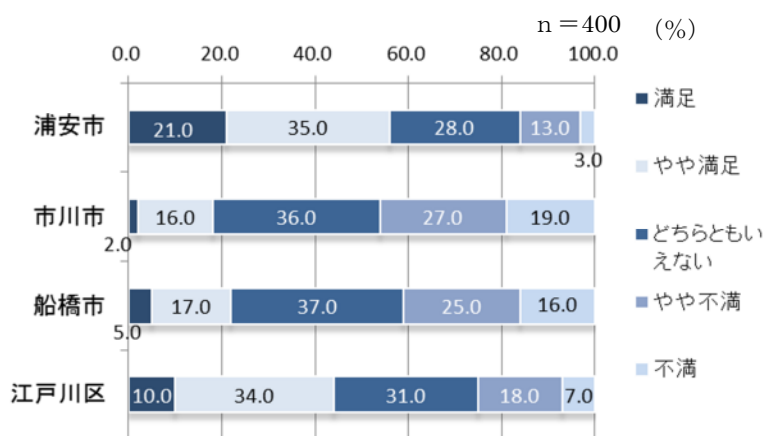
その他の記述では、「4月から2年保育」、「保育園一時保育利用中」があった。



### 3. お住まいの都市の子育て支援の施策・事業への満足度

⑧子育て支援についてお伺いします。  
 あなたがお住まいの都市の子育て支援の施策・事業に満足していますか。(お答えは1つ)

お住まいの都市の子育て支援の施策・事業について、浦安市では満足とする回答が56.0%（「満足」21.0%＋「やや満足」35.0%）であった。

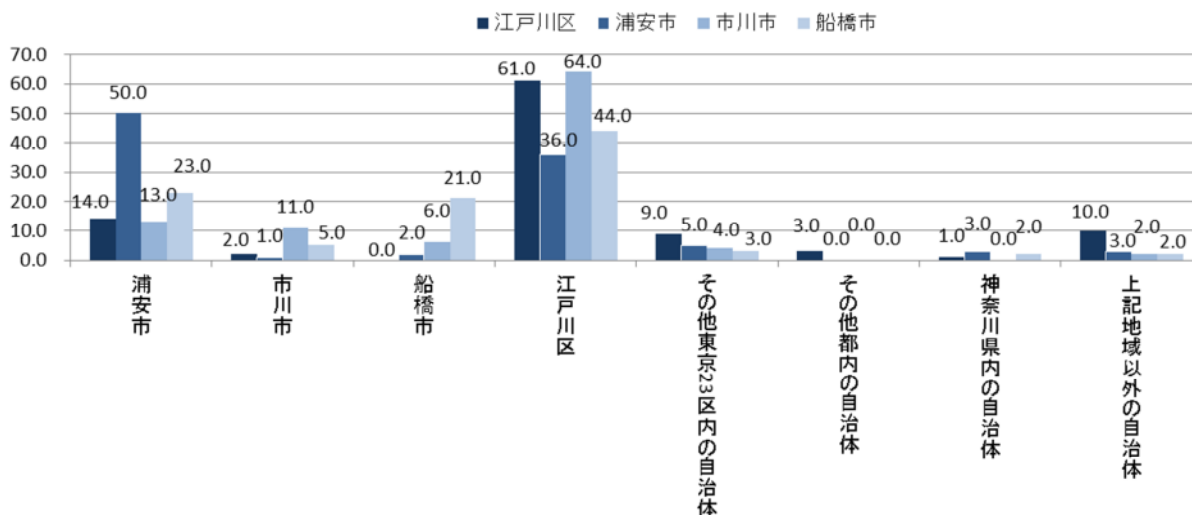


#### 4. 子育て支援の取り組みの充実している都市

◎子育て支援の取り組みが充実している都市はどこだと思いますか。(お答えは1つ)

「子育て支援の取り組みが充実している」と思う都市は、浦安市に住む人では50.0%が「浦安市」と回答しているが、他の都市に住む人では、「江戸川区」とする回答が最も多い。

n = 400 (%)



#### 5. 浦安市で子育てすることになったら

⑩浦安市で子育てをすることになったら、あなたはどのように感じますか。(お答えは1つ)

「浦安市で子育てをすること」の感じ方として、「どちらともいえない」とする回答が5割以上を占める。江戸川区に住む人では、不安とする回答（「不安」+「やや不安」）が安心とする回答（「安心」+「やや安心」）を上回る傾向が高い。

